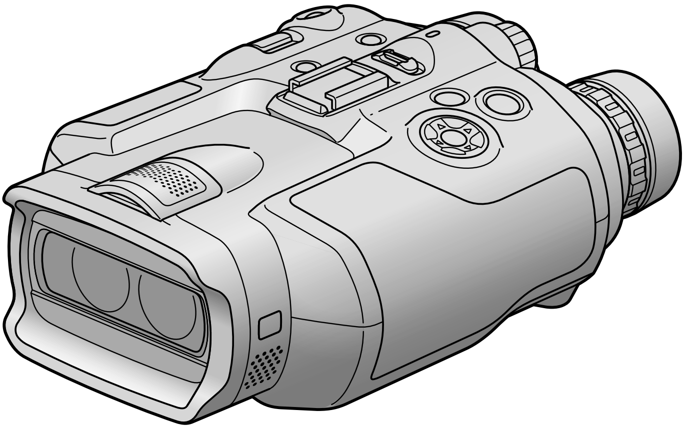
クリック

SONY

デジタル録画双眼鏡ハンドブック
DEV-3/5/5K



目次

メニューリスト

索引

4-410-129-**02**(1)

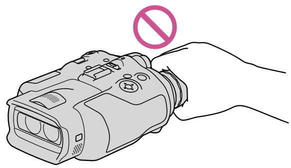
JP

使用前に必ずお読みください

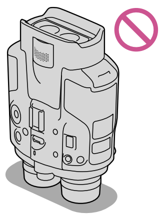
故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

- 次の部分をつかんで持たないでください。
  また、端子カバーをつかんで持たないでください。

ファインダー



- ファインダー部分を下にして置かないでください。



- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください（87ページ）。

メニュー項目、ファインダー、およびレンズについて

- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影・再生条件では使えません（同時に選べません）。
- ファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- ファインダーやレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

言語設定について

- 画面に表示される言語は変更できます。本機を使用する前に、表示言語を設定してください（14ページ）。

録画・録音について

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします（63ページ）。フォーマットすると、メモリーカードに記録されている全てのデータは消去され、元に戻すことは出来ません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- 万一、本機やメモリーカードなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが本機で録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮像素子（CMOSセンサー）の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
  - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見える（特に、動解像度表現に優れたモニターなどの場合）。
  - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調整することで現象が軽減されます。
  - 被写体にフラッシュを当てると、画面が上下分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります。
- 本機はご利用になる場所の規則に従ってお使いください。

- 本機で使えるメモリーカードについては、17ページをご覧ください。

再生に際してのご注意

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

ハイビジョン画質で記録したDVDについて

- AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。パソコンで保存するには36ページ、他機で保存するには41ページをご覧ください。
- [日 録画モード]で選ばれている設定によっては、保存できないディスクがあります。[60p画質 PS]（[50p画質 PS]）または[最高画質FX]にして撮影した動画は、外付けメディアとブルーレイディスクのみに保存できます（43, 46ページ）。

バッテリー・電源アダプターについて

- バッテリーやACアダプターは、電源を切ってから取り外してください。
- ACアダプターを本機から抜くときは、DCプラグと本機を持って取り外してください。

本機やバッテリーの温度について

- 本機やバッテリーの温度によっては、本機を保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の画面にメッセージが表示されます（76ページ）。

パソコンやアクセサリーなどとの接続について

- パソコンから本機のメモリーカードをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。

画像が正しく記録・再生されないときは[フォーマット]してください

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、メモリーカード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[フォーマット]（63ページ）を行ってください。

別売のアクセサリーについて

- ソニー純正アクセサリーの使用をおすすめします。
- 国や地域によっては発売されていないものもあります。

本書の表記、イラスト、画面表示について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。また、本機のイラストや画面表示は、わかりやすくするために誇張、省略されています。
- 本書では、ハイビジョン画質で保存したDVDディスクを「AVCHD記録ディスク」と表現しています。
- 本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

3D映像の視聴について

- 3D映像の視聴中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D映像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。
  不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。
  本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
  なお、お子さま(特に6歳未満の子) の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D映像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談いただくことをおすすめします。
  大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

取り扱い上のご注意

- 周囲の状況に注意をはらって、ご使用ください。特に、歩きながら本機を使用しないでください。事故やけがの原因となります。
- 本機で次のことをすると、メモリーカードが壊れたり、記録した映像が再生できなくなったり、失われたりする場合があります。また、本機の故障の原因になります。
  - アクセスランプ(18ページ)が点灯、点滅中にメモリーカードを取り出す
  - 本機の ▮▮(動画)ランプ/◼(静止画)ランプ(21、22ページ)や、アクセスランプ(18ページ)が点灯、点滅中に本機からバッテリーやACアダプターを取り外したり、本機に衝撃や振動を与える
- ネックストラップを使用中は、本機を背中にまわさないでください。けがのおそれがあります。また、本機を物にぶつけないように注意してください。

取扱説明書について

基本的な操作方法を記載した「取扱説明書」と、機能の詳細などを記載した「デジタル録画双眼鏡ハンドブック(PDF)」があります。

取扱説明書

準備から撮影、再生など、本機の「基本操作」を記載しています。

デジタル録画双眼鏡ハンドブック(PDF)

メニューの詳細説明や、パソコンや他機を使った保存の方法など、本機の「機能の詳細」を記載しています。

デジタル録画双眼鏡ハンドブック(PDF)を見るには

付属のCD-ROMから「デジタル録画双眼鏡ハンドブック」をインストールしてください。

- お使いのパソコンがWindowsのときは、インストール画面で[ハンドブック]→言語とお使いの機種名→[インストール]をクリックし、画面に従ってインストールしてください。デスクトップにショートカットができます。
- Macのときは、CD-ROM内の[Handbook]－[JP]フォルダから[Handbook.pdf]をコピーしてください。
- 「デジタル録画双眼鏡ハンドブック」を見るにはAdobe Readerが必要です。アドビ社のホームページから無償でダウンロードできます。
  http://www.adobe.co.jp/

目次

使用前に必ずお読みください ………… 2
3D映像の視聴について ………… 4
取り扱い上のご注意 ………… 4
取扱説明書について ………… 4

準備する

準備1：付属品を確かめる ………… 8
付属品を取り付ける ………… 9
準備2：バッテリーを充電する ………… 10
本機でバッテリーを充電する ………… 10
ACアダプター /チャージャーでバッテリーを充電する（DEV-5Kのみ付属） ………… 12
準備3：電源を入れて本機の設定をする ………… 14
準備4：メモリーカードを入れる ………… 17

双眼鏡／撮影／再生

双眼鏡として使う ………… 19
撮影する ………… 21
動画を撮る ………… 21
静止画を撮る ………… 22
本機で再生する ………… 23
テレビにつないで再生する ………… 25
接続方法一覧 ………… 25
ブラビアリンクを使う ………… 27

応用操作

撮るときに便利な機能 ………… 29
カメラまかせでかんたんキレイに撮影する（おまかせオート） ………… 29
録画モードを選ぶ ………… 29
測位情報を記録する（GPS）（DEV-5/5K） ………… 30
MANUALダイヤルでマニュアル調節する ………… 31
本機で編集する ………… 32
画像を削除する ………… 32
記録した画像を保護する（プロテクト） ………… 33
動画を分割する ………… 34

パソコンを使って保存する

ディスクの作りかたを選ぶ（パソコン） 36
パソコンに保存する 37
ワンタッチでディスクを作る（ワンタッチディスク） 38
ディスクに保存する 39

他機を使って保存する

他機を使った保存のしかたを選ぶ 41
　ディスクを再生できる機器は 42
外付けメディアを使って保存する 43
　好みの動画・静止画を保存する 44
　外付けメディアの画像を本機で見る 45
ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って保存する 46
DVDirect Express以外のDVDライターでハイビジョン画質のディスクを作る 47
レコーダーなどで標準画質のディスクを作る 48

本機の設定を変える

メニューを使いこなそう 50
　メニューの操作方法 50
メニュー一覧 51
撮影モード（撮影の種類に関する設定） 54
カメラ・マイク（好みの撮影をするときの設定） 54
画質・画像サイズ（画質や画像サイズに関する設定） 61
編集・コピー（編集に関する設定） 62
セットアップ（その他のいろいろな設定） 63

その他

故障かな?と思ったら 70
自己診断・警告表示 76
記録時間・枚数について 80
　バッテリーごとの使用可能時間の目安 80
　動画の撮影可能時間の目安 80
　静止画の撮影可能枚数の目安 81
海外で使う 82

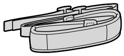
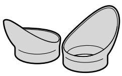
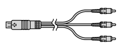
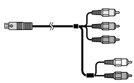
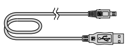
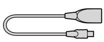
使用上のご注意とお手入れ …… 84
AVCHD規格について …… 84
GPSについて（DEV-5/5K） …… 84
メモリーカードについて …… 85
InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて …… 86
x.v.Color（エックスブイ・カラー）について …… 87
本機の取り扱いについて …… 87

各部のなまえ・索引

画面表示 …… 90
各部のなまえ …… 91
索引 …… 93

準備1：付属品を確かめる

箱を開けたら付属品がそろっているか確認してください。不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。（　）内は個数。

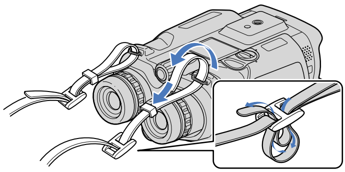
付属品	DEV-3	DEV-5	DEV-5K
□ デジタル録画双眼鏡（1）	○	○	○
□ キャリングケース（1）	×	○	○
□ ネックストラップ（1） 	○	○	○
□ レンズカバー（1） 	×	○	○
□ ファインダーキャップ（1） 	×	○	○
□ 大型アイカップ（2） 	×	○	○
□ ACアダプター／チャージャー（AC-VQV10）（1）	×	×	○
□ 接続コード（DK-225）（1）	×	×	○
□ ACアダプター（AC-L200）（1）	○	○	×
□ 電源コード（1）	○	○	○
□ リチャージャブルバッテリーパック（1）	NP-FV70	NP-FV70	NP-FV100
□ A/V接続ケーブル（1） 	○	○	○
□ コンポーネントA/Vケーブル（1） 	×	×	○
□ USBケーブル（1） 	○	○	○
□ USBアダプターケーブル（1） 	×	×	○

□ CD-ROM「Video Camera Application Software」(1) –「PMB」(ソフトウェア、「PMBヘルプ」を含む) –「デジタル録画双眼鏡ハンドブック」(PDF)	○	○	○
□ 取扱説明書(1)(本書)	○	○	○
□ 保証書(1)	○	○	○
□ 業務用相談窓口のご案内(1)	×	×	○

付属品を取り付ける

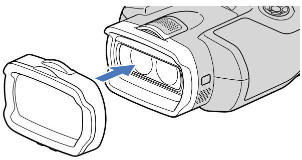
ネックストラップを取り付ける

落下防止のため、本機をご使用になる前に、次の手順で取り付けてください。
ストラップの先端を本機のストラップ取り付け部にとおしてから、留め具の内側にとおして固定します。

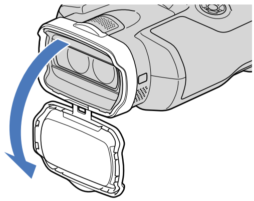


レンズカバーを取り付ける (DEV-5/5K)

本機を使用しないときは取り付けて保管してください。

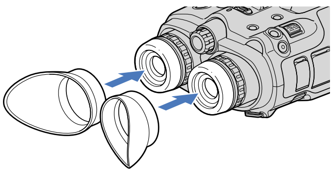


レンズカバーを取り付けたままでも使用できます。



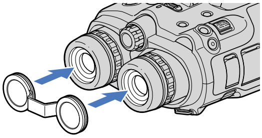
大型アイカップを取り付ける (DEV-5/5K)

周囲が明るすぎる場合など、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。本体に装着されているアイカップの溝に合わせて取り付けます。

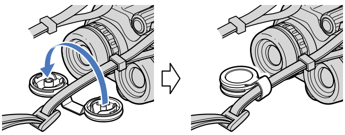


ファインダーキャップを取り付ける（DEV-5/5K）

本機を使用しないときは取り付けて保管してください。
アイカップの内側の溝にはめ込みます。



取り外したファインダーキャップは、ネックストラップに取り付けることができます。



準備2：バッテリーを充電する

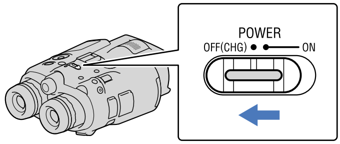
専用の"インフォリチウム"バッテリー（Vシリーズ）を充電します。

ご注意

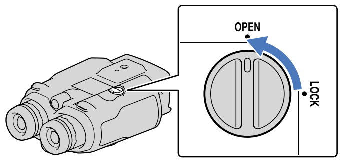
- 本機ではNP-FV70/FV100以外は使えません。

本機でバッテリーを充電する

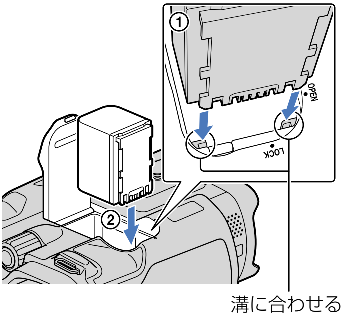
1 緑のボタンを押しながら、本機のPOWERスイッチをOFF（CHG）にする。



2 バッテリーカバーロックを回し、OPENにあわせて、バッテリーカバーを開ける。



3 バッテリーをスライド溝に合わせて（①）、「カチッ」と音がするまで押し込む（②）。

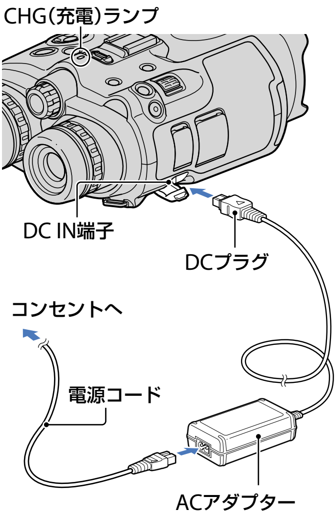


---

4 バッテリーカバーを閉じて、ロックする。

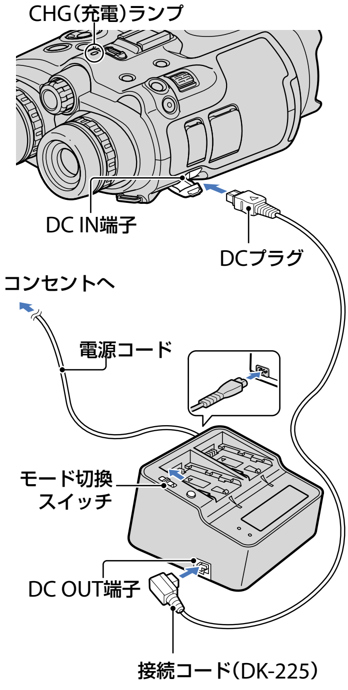
---

5 DEV-3/5：ACアダプターと電源コードを本機とコンセントにつなぐ。



DEV-5K：ACアダプター /チャージャーに電源コードと接続コード（DK-225）をつないで、本機とコンセントにつなぐ

- ACアダプター /チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ/カメラ」にする。



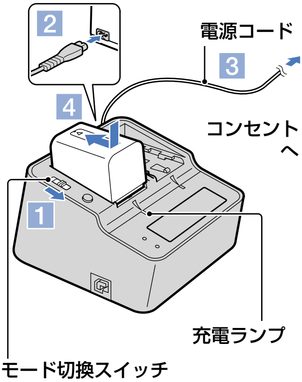
CHG（充電）ランプが点灯し、充電が始まります。
充電が完了するとCHG（充電）ランプが消えます（満充電）。

---

6 充電が終わったら、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

ACアダプター/チャージャーでバッテリーを充電する(DEV-5Kのみ付属)

本体での充電よりも高速充電が可能です。



1 **ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチを「充電」にする。**

2 **電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぐ。**

3 **電源コードをコンセントにつなぐ。**

4 **バッテリーを押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける。**

充電ランプが点灯し、充電が始まります。

充電が完了すると表示窓のバッテリーマークがすべて点灯します(「NORMAL」実用充電)。充電ランプが消え、バッテリーマーク「FULL」が表示されるまで充電を続けるとさらに長い時間使用できます(満充電)。
充電が終わったら、バッテリーをACアダプター/チャージャーから取り外してください。

充電時間

使い切った状態からのおよその時間(分)

本体内充電

バッテリー型名	満充電
NP-FV70	195
NP-FV100	390

ACアダプター/チャージャーでの充電(DEV-5Kのみ付属)

バッテリー型名	実用充電	満充電
NP-FV70	70	130
NP-FV100	125	185

- 25℃で充電したときの時間です。10℃~30℃での充電をおすすめします。

ちょっと一言

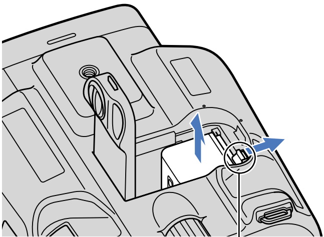
- 撮影・再生可能時間は、80ページをご覧ください。
- 電源を入れて撮影画面にすると、画面右上のバッテリー残量表示でおおよそのバッテリー残量(撮影・再生可能時間)を確認できます。

コンセントの電源で使うには

「準備2:バッテリーを充電する」(10ページ)のつなぎかたのまま操作する。
バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

バッテリーを取り外すには

① POWERスイッチをOFF（CHG）にする。
② バッテリーカバーを開ける（10ページ）。
③ バッテリー取り外しつまみを矢印の方向にずらしてバッテリーを取り出す。



海外で充電するには

付属のACアダプター /チャージャー（DEV-5K）、ACアダプター（DEV-3/5）を使って全世界で充電できます。ただし、地域によって電源プラグの形が異なるので変換プラグが必要です。旅行代理店などでご確認ください。

ご注意

- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用しないでください。

バッテリーについて

- バッテリーやACアダプターを取り外すときは、本機の電源を切り、（動画）ランプ/（静止画）ランプ（21、22ページ）、アクセスランプ（18ページ）が消えていることを確認してください。
- 次のとき、充電中のCHG（充電）ランプが点滅することがあります。
  - バッテリーを正しく取り付けていないとき
  - バッテリーが故障しているとき
  - バッテリーの温度が低いとき
    バッテリーを外して暖かいところに置いてください。
  - バッテリーの温度が高いとき
    バッテリーを外して涼しいところに置いてください。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

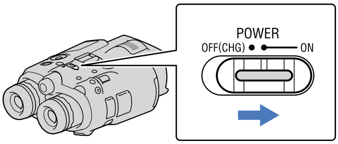
準備3：電源を入れて本機の設定をする

ご注意

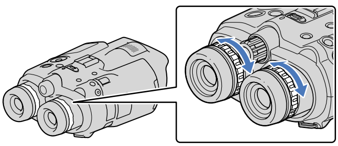
- USBケーブルを接続した状態で本機の電源を入れないでください。
- 設定中にUSBケーブルを接続しないでください。

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチをONにする。

本機の電源が入ります。

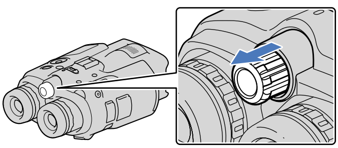


2 視度調整ダイヤルを回して左右の眼それぞれで画像がはっきり見えるように合わせる。

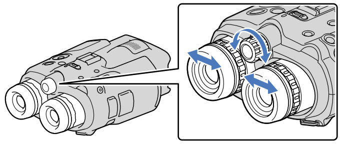


- 使用者が変わる場合は、使用のたびに視度調整を行ってください。
- 視度調整は右眼と左眼で交互に行ってください。

3 IPD ADJダイヤルを引き出す。



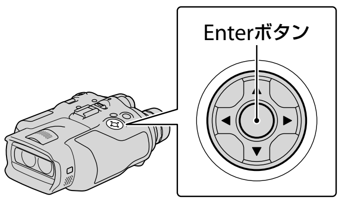
4 ファインダーの画像を見ながらIPD ADJダイヤルを回して、左右のファインダーの間隔を自分の眼幅に合わせる。



- 左右のファインダーの画像が見やすく重なる位置に合わせてください。
- 映像が二重に見えていないことを確認してください。
- 使用者が変わる場合は、使用のたびに眼幅調整を行ってください。

5 IPD ADJダイヤルを押し込む。

6 ▲/▼/◀/▶/Enterボタンを使って、言語設定、エリア設定、サマータイム設定、日付表示設定、日付設定を行い、各設定を確認する。



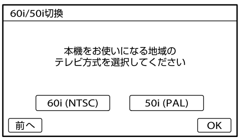
それぞれの設定が完了したら[次へ]を選んで、Enterを押してください。

- 再度、時計あわせをするには、MENU（メニュー）→[セットアップ]→[⏻(時計設定)]→[日時設定]→[日時]の順に選びます。[日時設定]の項目が画面に表示されていないときは、▼/▲ を使って項目を表示させます。

7 お使いの国、地域のテレビ方式に合わせて[60i(NTSC)]または[50i(PAL)]を選び、OK を選んでEnterを押す。

60i/50i切換の設定をすると、システム変更のため本機は再起動します。

- お使いの国、地域のテレビ方式については、82ページを参照してください。

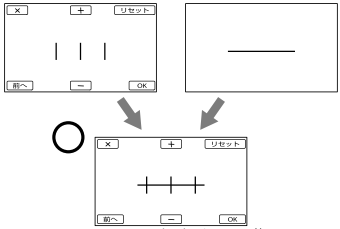


8 連続使用のご注意とファインダーの調整に関するご注意を確認したら、[次へ]を選ぶ。

9 ファインダーの表示位置を確認する。

横線が縦線と重なって見えることを確認します。

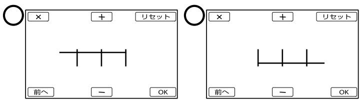
左側ファインダーの画像　右側ファインダーの画像



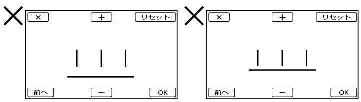
両目で見たときの画像

横線と縦線が重なって見えない場合は、+/− で横線と縦線が重なるように画像を調整して、OK を選んでください。

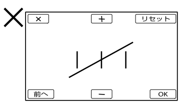
- 次のように見える場合は問題ありません。



- 次のように見えた場合は使用を中止してください。



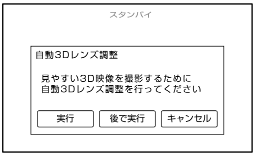
横線が縦線と重なっていない



横線が極端に傾いている

正常に見えないときは、本機が変形、破損している場合があります。ソニーの相談窓口（DEV-3/5）、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店（DEV-5K）にお問い合わせください。

10 [実行]を選ぶ。

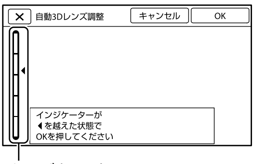


- [後で実行]を選ぶと撮影画面が表示されます。次回電源を入れたときに[自動3Dレンズ調整]画面が表示されます。

11 3Dレンズを調整する。

被写体を画面に表示します。

- インジケーターの目盛りが◀を超える被写体を選んで映してください。



12 OK を選ぶ。

調整が完了するまで被写体を変えないでください。

ご注意

- [自動3Dレンズ調整]に失敗した場合は、[もう一度実行]を選んでください。

[自動3Dレンズ調整]時に画面に表示する被写体について

画面に表示する被写体によって、インジケーターの目盛りが変わります。

インジケーターの目盛りが上がりやすい被写体

- 屋外などの明るい場所
- さまざまな色や形などがある被写体




インジケーターの目盛りが上がりにくく、調整に失敗しやすい被写体

- 夜景や暗い場所
- 本機からの距離が2m未満の被写体
- 模様が少ない被写体
- ビルの窓のように同じ模様が繰り返される被写体
- 動きのある被写体




ご注意

- ファインダー内で視線を動かした場合などに、赤、青、緑などの色が一瞬ちらついて見えることがありますが、故障ではありません。また、それらの色のちらつきが実際にメモリーカードに記録されることはありません。
- 日付時刻は撮影時には表示されません。撮影したメモリーカードに自動的に記録され、再生時に表示させることができます。表示させるには、MENU(メニュー)→[セットアップ]→[▶(▶ 再生設定)]→[日付/データ表示]→[日付時刻データ]→ OK を選びます。

電源を切るには

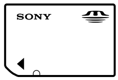
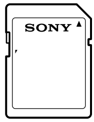
POWERスイッチをOFFにします。
(動画)ランプが数秒間点滅して、電源が切れます。

言語を変更するには

画面に表示される言語は変更できます。
変更するには、MENU(メニュー)→[セットアップ]→[(一般設定)]→[言語設定]→ 使用する言語 → OK → × → × を選びます。

準備4：メモリーカードを入れる

本機で使えるメモリーカード

– “メモリースティック PRO デュオ”(Mark2) – “メモリースティック PRO-HG デュオ”	– SDメモリーカード* – SDHCメモリーカード* – SDXCメモリーカード*
	
本書では「“メモリースティック PRO デュオ”」と記載します。	本書では「SDカード」と記載します。

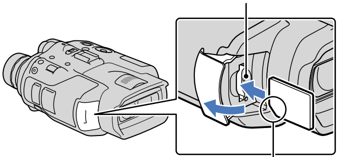
* SDスピードクラスClass 4以上が必要です。

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック PRO デュオ”、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。故障の原因になります。
- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は32GB、SDカードは64GBまでです。

ご注意

- マルチメディアカードは使用できません。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT*に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容が全て失われます。
  - * exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。

1 カバーを開き、メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして「カチッ」というまで押し込む。



新しいメモリーカードを入れたときは、[管理ファイル準備中]が表示されます。表示が消えるまでそのままお待ちください。

2 カバーを閉じる。

ご注意

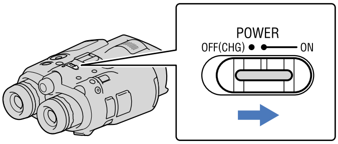
- [管理ファイルを新規作成できませんでした　空き容量がたりない可能性があります]と表示されたときは、メモリーカードをフォーマットしてください(63ページ)。
- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- 撮影中にカバーを開けないでください。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

メモリーカードを取り出すには

カバーを開き、メモリーカードを軽く1回押して取り出します。

双眼鏡として使う

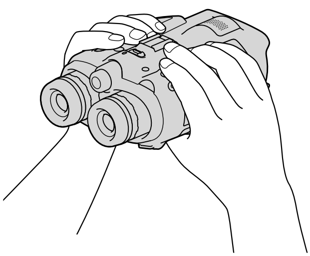
1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチをONにする



電源が入ります。
使用状況に応じて、起動時に各種調整画面が表示されることがあります。調整を行ってから使用してください。

2 視度、眼幅、ファインダーの表示位置が合っていることを確認する（14ページ）。

3 本機を両手で持って被写体に向けて使用する。



- ズームレバーで倍率を調整できます。
- 本機はオートフォーカス機能により、ピント調節が自動で行われます（お買い上げ時の設定）。

ちょっと一言

- [手ブレ補正]機能は、お買い上げ時の設定は[アクティブ]です。

ズームについて

ズーム時の双眼鏡倍率、ズーム倍率はそれぞれ下記のとおりです。

双眼鏡倍率

	DEV-3	DEV-5/5K
動画モード（2Dモード）*1	約0.8倍～約10倍	約0.8倍～約20倍*2 約0.8倍～約10倍*3
動画モード（3Dモード）*1	約0.5倍～約5.4倍	約0.5倍～約5.4倍
静止画モード	約0.5倍～約10倍（16：9） 約0.3倍～約7.5倍（4：3）	約0.5倍～約20倍*4（16：9） 約0.3倍～約15倍*4（4：3）

ズーム倍率

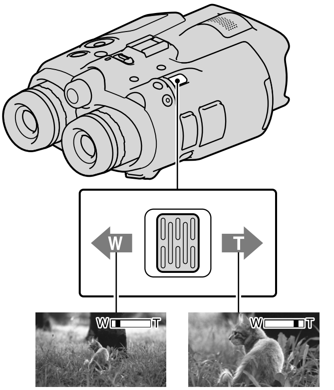
	DEV-3	DEV-5/5K
動画モード（2Dモード）	約12倍	約24倍*2 約12倍*3
動画モード（3Dモード）	約10倍	約10倍
静止画モード	約22倍	約44倍*4

*1 [手ブレ補正]が[アクティブ]以外のとき
*2 [デジタルズーム]が[入]のとき（高倍率時には画質が劣化します）
*3 [デジタルズーム]が[切]のとき
*4 高倍率時には画質が劣化します

ちょっと一言

- 双眼鏡倍率とは、ファインダーで見たときの被写体の大きさが、肉眼で見たときよりどれだけ大きい（何倍）かを示す数値です。

- ズーム倍率とは、ワイド端とテレ端のときのレンズ焦点距離の比率です。



広角：Wide（ワイド）　望遠：Telephoto（テレフォト）

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

ご注意

- ズームレバーから急に指を離さないでください。操作音が記録される場合があります。

マニュアルでピントを調節するには

① ▲/▼/◄/►/Enterボタンで、MENU（メニュー）→［カメラ・マイク］→［（マニュアル設定）］→［フォーカス］を選ぶ。

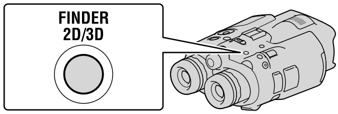
② ［マニュアル］を選んで、（近くにピント合わせ）／（遠くにピント合わせ）を選び、Enterを押してピントを調節する。

ちょっと一言

- 自動ピント合わせに戻すには、［オート］を選んでください。

ファインダーの表示を切り換える

FINDER 2D/3D（ファインダー表示切り換え）ボタンを押すと、ファインダー表示が3Dと2Dで切り替わります。



ちょっと一言

- ファインダーの3D表示とは、左のレンズの画像を左のファインダーに、右のレンズの画像を右のファインダーに表示することです。
ファインダーの2D表示とは、左のレンズの画像を左右両方のファインダーに表示することです。

撮影する

お買い上げ時の設定では、ファインダー表示は3Dですが（20ページ）、動画は2Dで記録されます。

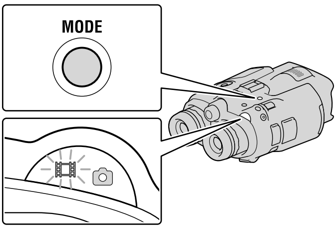
緑のボタンを押しながら、POWERスイッチをONにする

電源が入ります。

動画を撮る

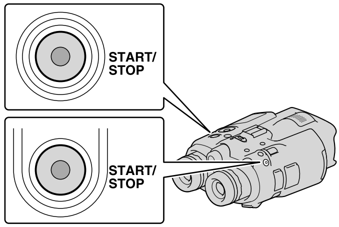
1 MODEボタンを押して、（動画）ランプを点灯させる。

MODEボタン

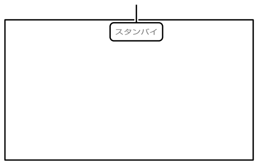


（動画）：動画を撮影するとき
（静止画）：静止画を撮影するとき

2 START/STOPボタンを押して動画の録画を始める。



[スタンバイ] → [●録画]



撮影中は録画ランプが赤く点灯します。
撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。

画面の表示をもう一度出すには

▲/▼/◀/▶/Enterボタンなどを押してください。[画面表示設定]で、設定を変更できます（60ページ）。

ご注意

- 動画の連続撮影可能時間は以下のとおりです。
  - 2D時：約13時間
  - 3D時：約6時間30分
- 動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。
- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかります。その間、本機の操作はできません。

- 撮影終了後、次の状態のときは撮影したデータをメモリーカードに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取り外したりしないでください。
  - アクセスランプ（18ページ）が点灯中、または点滅中
  - 画面右上のメディアアイコンが動作中

ちょっと一言

- 動画の撮影可能時間は80ページをご覧ください。
- 撮影可能時間や空き容量の目安などを確認するには、MENU（メニュー）→［セットアップ］→［（メディア設定）］→［メディア情報］を選びます（63ページ）。

2D/3Dモードを切り換える

記録する動画の種類を2Dと3Dで切り換えられます。

MENU（メニュー）→［画質・画像サイズ］→［2D/3Dモード切換］を選んでください。

ちょっと一言

- ［2D/3Dモード切換］の設定を変えることで、再生される動画やHDMI端子から出力される動画も変わります。

3D撮影時の被写体との距離とズーム倍率

奥行き感、立体感のある3D動画を撮影するための距離はズーム倍率で異なります。以下の距離で撮影してください。

被写体との距離	ズーム
約80 cm ～約6 m	W[■□□□□]T
約2.5 m ～約10 m	W[□□■□□]T
約7.5 m ～約20 m	W[□□□□■]T

ご注意

- 3Dモードでは、最大双眼鏡倍率は約5倍となります。より高倍率で被写体をモニタリング*・撮影したいときは、2Dモードに切り換えてください。

* モニタリングとは、記録を行わずにファインダーで被写体を観察している状態のことです。

撮影時のデータについて

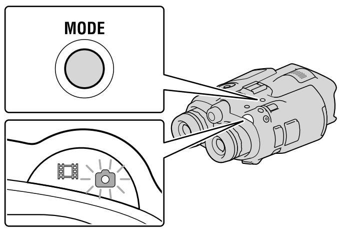
撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータ、緯度経度データ（DEV-5/5K）が自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻/カメラデータ/緯度経度データ（DEV-5/5K）として確認できます（63ページ）。

静止画を撮る

1 MODEボタンを押して、（静止画）ランプを点灯させる。

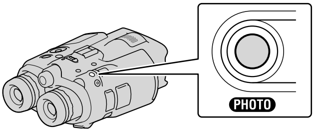
静止画撮影モードに切り替わります。

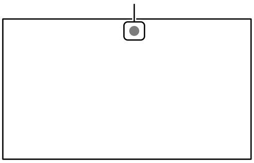
MODEボタン



（動画）：動画を撮影するとき
（静止画）：静止画を撮影するとき

2 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、そのまま深く押す。





IIIIIIII が消えると記録されます。

ご注意

- 静止画は3Dで撮影できません。あらかじめ MENU (メニュー) →[画質・画像サイズ]→[2D/3Dモード切換]で[2D]を選んでください。

ちょっと一言

- 静止画の撮影可能枚数は81ページをご覧ください。
- 画像サイズは、MENU (メニュー)→[画質・画像サイズ]→[📷 画像サイズ]→好みの設定→ OK を選んで変更できます。
- 表示中は静止画撮影できません。

本機で再生する

本機で記録した画像を再生できます。

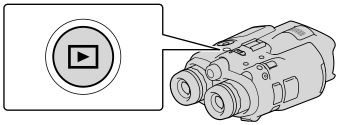
ちょっと一言

- 3Dで撮影した画像を見たい場合は、[2D/3Dモード切換]を[3D]にしてください。

1 緑のボタンを押しながらPOWERスイッチをONにする。

本機の電源が入ります。

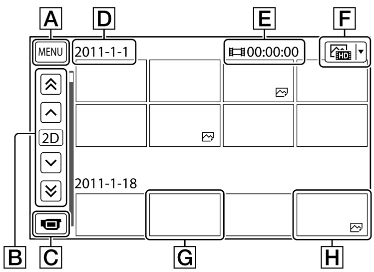
2 ▶(画像再生)ボタンを押す。



数秒後にイベントインデックスが表示されます。

3 ▲/▼/◀/▶で見たい画像を選んで、Enterボタンを押して決定する。

画像の再生が始まります。



A メニュー画面へ

B ˄ 前の画像へ/˅ 次の画像へ
⌃⌃ 前のイベントへ/⌄⌄ 次のイベントへ

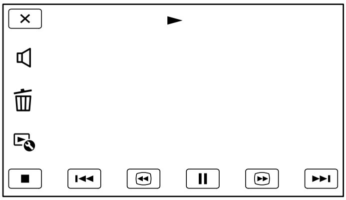
双眼鏡/撮影/再生

C 撮影画面へ
D イベントタイトル
E イベント内の動画の合計時間/静止画の合計枚数
F 表示画像切り換えボタン(2D時のみ)(動画、静止画、動画/静止画*)
G 動画
H 静止画

* この表示から再生を始めると、動画と静止画が混在して再生されます。

- 本機は、撮影の頻度と日時情報から、画像をイベントという単位にまとめます。

再生画面の操作について



II ►	動画の一時停止/再生
■	再生停止
I◄◄ ►►I	前の画像/次の画像
◄◄ ►►	動画の巻戻し/早送り
	静止画スライドショーの再生
	再生音量
	画像の削除
	設定可能な機能

* 再生する画像によっては表示されないものもあります。

ご注意

- 本機で撮影した画像は他機では再生できない場合があります。

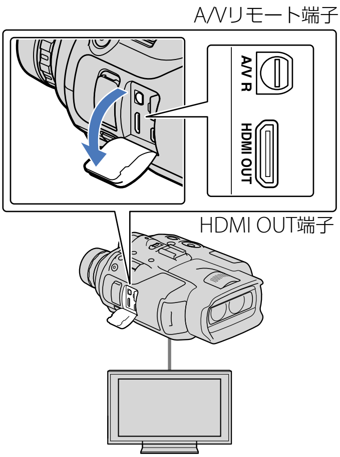
ちょっと一言

- 選んだ画像から最後の画像まで再生されると、インデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に ◄I/I► を選ぶと、スロー再生が始まります。
- 再生中、◄◄/►► を選ぶたびに、約5倍速→約10倍速→約30倍速→約60倍速で再生します。
- 撮影時に日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは撮影中は表示されませんが、MENU(メニュー)→[セットアップ]→[►(► 再生設定)]→[日付/データ表示]→好みの設定→ OK → ✕ → ✕ を選ぶと再生時に表示できます。
- 静止画のスライドショーを見るには、表示画像切換で 静止画を選んでください。スライドショーの繰り返し再生を設定するときは、→[スライドショー設定]を選んでください。

テレビにつないで再生する

テレビの種類や接続する端子によって、接続方法やテレビに映る画像の種類(3D/2D)、画質(ハイビジョン/標準)が異なります。

本機の端子



1 **テレビの入力設定を切り換える。**

- 詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 **本機をテレビにつなぐ。**

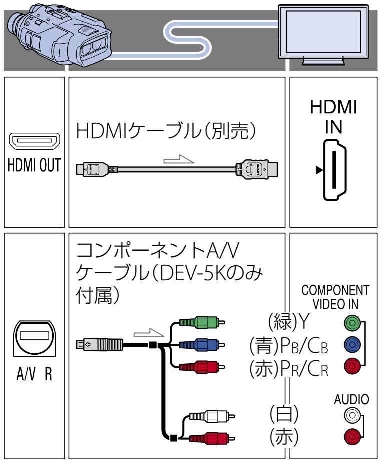
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントからとってください(12ページ)。

3 **本機で動画、静止画を再生する(23ページ)。**

接続方法一覧

3D対応テレビのとき

3D撮影した動画が3Dで再生されます。[2D/3Dモード切換]が[3D]になっていることを確認してください。



ご注意

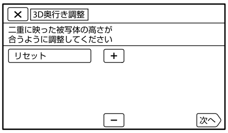
- コンポーネントA/Vケーブルで接続したときは、2Dで表示されます。

3D対応テレビとHDMIケーブル(別売)での接続時に3D動画の立体感を調整する(3D奥行き調整)

3D動画再生中、立体感を調整できます。本機のファインダーには操作ボタンのみが表示されます。テレビで画像を確認しながら調整してください。

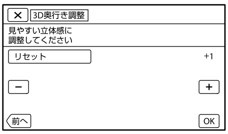
① 3D動画再生中の画面で、→[3D奥行き調整]を選ぶ。
動画が停止し、調整に関する注意が表示されます。
[次へ]を選ぶと、上下方向を調整する画面が表示されます。

② ＋/－ を選んで上下方向を調整し、[次へ]を選ぶ。



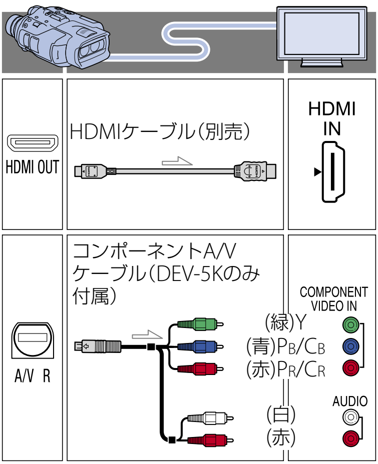
左右方向を調整する画面が表示されます。

③ ＋/－ を選んで、左右方向を調整し、OK を選ぶ。



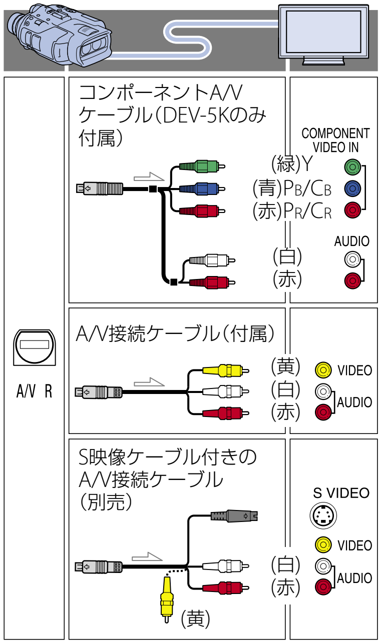
ハイビジョンテレビのとき

ハイビジョン画質で再生されます。



ハイビジョン非対応テレビのとき

標準画質で再生されます。



コンポーネントA/Vケーブル接続のときは

- コンポーネントビデオプラグのみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。
- コンポーネントに合わせて[コンポーネント出力]を設定してください。MENU(メニュー)→[セットアップ]→[⇄(⇄ 接続)]→[コンポーネント出力]→ お好みの設定 → OK を選んで設定できます。

HDMIケーブル接続のときは

- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。

- 本機側はHDMIミニコネクタ、テレビ側はテレビの端子にあったプラグのHDMIケーブルをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、本機のHDMI OUT端子から出力できません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士を接続しないでください。故障の原因となります。

ハイビジョン非対応のテレビ（ワイド/4:3）に合わせて画像の横縦比を変えるには

- お使いになるテレビの横縦比に合わせて、[TVタイプ]を[16:9]または[4:3]に設定してください（64ページ）。

S映像ケーブル付きA/V接続ケーブル接続のときは

- S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。
- A/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。
- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

モノラルテレビ（音声端子がひとつ）のときは

- A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）か赤いプラグ（右音声）のどちらかを音声入力へつないでください。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

- ビデオの入力端子によって接続方法を選んでください。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」（ビデオ1、ビデオ2など）に切り換えてください。

ご注意

- A/V接続ケーブルを使って接続すると、出力される画質は標準画質になります。

ちょっと一言

- 画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、テレビの入力がHDMI→コンポーネント→S映像→映像端子の順で優先されます。
- HDMI（High Definition Multimedia Interface）とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

ブラビアリンクを使う

本機とブラビアリンク対応のテレビ*をHDMIケーブルでつなぐと、テレビのリモコンを使用して操作できます。
テレビのリモコンのリンクメニューボタンから本機の操作メニューを開き、上/下/左/右/決定ボタンで、イベントインデックスなどを表示してお好みの動画/静止画を再生できます。

*2008年以降に発売された、ブラビアリンク対応のテレビで使用できます。

ご注意

- リモコンでは一部の操作が行えないことがあります。
- 本機を設定するには、MENU（メニュー）→[セットアップ]→[⇄（⇄ 接続）]→[HDMI機器制御]→[入]（お買い上げ時の設定）→ OK → ✕ → ✕ を選んでください。

双眼鏡／撮影／再生

- テレビ側の設定も必要です。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- リンクメニューの操作はお使いのブラビアによって異なります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- テレビの電源を切ると、本機も連動して電源が切れます。

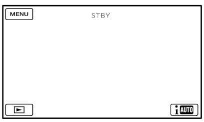
撮るときに便利な機能

動画モード( )と静止画モード( )で使用できるメニューが異なります。

カメラまかせでかんたんキレイに撮影する（おまかせオート）

本機を被写体に向けると、顔認識、シーン認識、手ブレ検出の3種類の検出機能を組み合わせて、最適な設定に切り換えます。（お買い上げ時の設定は[切]）。シーンなどを検出すると対応するアイコンが表示されます。

1 動画、静止画の撮影画面で、iAUTO を選ぶ。



2 [入] → OK を選ぶ。

顔認識

(人物)、(赤ちゃん)
顔を検出して、顔部分が最適になるようにフォーカス/色/露出を調節します。

シーン認識

(逆光)、(風景)、(夜景)、(スポットライト)、(低照度)、(マクロ)
シーンに合わせて、最適な設定に切り替わります。

手ブレ検出

(歩き)、(三脚)
手ブレの状態を感知して、最適な設定に切り替わります。

ご注意

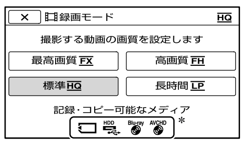
- 撮影状況によっては、認識や検出が希望どおりに働かない場合があります。

録画モードを選ぶ

録画モードを選んで記録する画質を切り換えることができます。録画モードによってメモリーカードへの録画可能時間が変わります（お買い上げ時の設定は[標準 HQ]）。
3D撮影時は録画モードを変更できません。

1 MENU（メニュー）→[画質・画像サイズ]→[録画モード]を選ぶ。

2 お好みの設定を選ぶ。



[フレームレート]（61ページ）によって、選択できる録画モードが異なります。

* 保存できないメディアのアイコンに が表示されます。

3 OK を選ぶ。

録画モードと保存できるメディア

録画モードの設定によって、記録した動画を保存できるメディアが異なります。他機への保存方法については41ページをご覧ください。

保存できるメディア	録画モード			
	3D	PS*	FX	FH/HQ/LP
外付けメディア	○	○	○	○
ブルーレイディスク	○	○	○	○
AVCHD記録ディスク	–	–	–	○

* [フレームレート]（61ページ）が60p（50p）のときに設定できます。

ちょっと一言

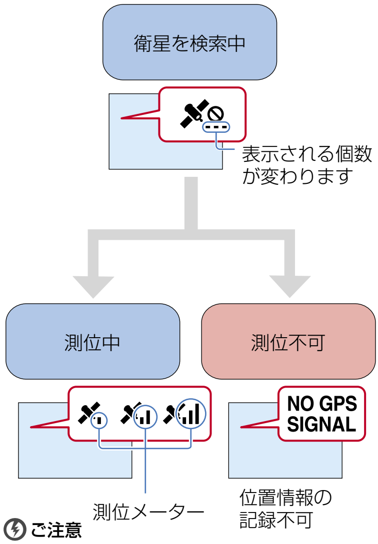
- 本機は[60i/50i 切換]の設定に応じて、以下のAVCHD規格の画素数で記録します。
  [60i（NTSC）]のとき
  - 3D時：1920×1080/60i
  - PSモード：1920×1080/60p
  - FX/FHモード：1920×1080/60i
  - HQ/LPモード：1440×1080/60i

  [50i（PAL）]のとき
  - 3D時：1920×1080/50i
  - PSモード：1920×1080/50p
  - FX/FHモード：1920×1080/50i
  - HQ/LPモード：1440×1080/50i
- ハイビジョン画質の画質は次のとおりです。
  - [3D]（HD 28M（3D））
  - [60p 画質 PS]（[50p 画質PS]）（AVC HD 28M（PS））
  - [最高画質 FX]（AVC HD 24M（FX））
  - [高画質 FH]（AVC HD 17M（FH））
  - [標準 HQ]（AVC HD 9M（HQ））
  - [長時間 LP]（AVC HD 5M（LP））
- 24Mなどの「M」は「Mbps」のことです。

測位情報を記録する（GPS）（DEV-5/5K）

お買い上げ時の設定では、動画や静止画の撮影時に位置情報を記録します。

GPSの測位状況



ご注意

- 測位中になるまで数分かかることがあります。
- 測位できないときは、次の操作を行うと改善される場合があります。
  - 電波が届きにくい場所（84ページ）から移動する。

ちょっと一言

- 次のときは、最大で数百メートルの測位の誤差を生じる場合があります。
  - 周囲の建物などで反射したGPSの電波を受信したとき
  - 受信したGPSの電波が弱いとき

- 記録した位置情報を表示するには、MENU（メニュー）→［セットアップ］→［▶（▶ 再生設定）］→［日付/データ表示］→［緯度経度データ］を設定してください。

優先的に位置情報を受信するには

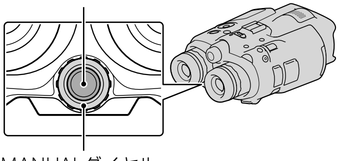
66ページをご覧ください。

位置情報を記録しないときは

MENU（メニュー）→［セットアップ］→［🔧（🔧 一般設定）］→［GPS］→［切］を設定してください。

MANUALダイヤルでマニュアル調節する

よく使うメニュー項目をダイヤル操作に割り当てると便利です。
ここでは［3D奥行き調整］が割り当てられているときの説明をします。ここで行う［3D奥行き調整］は、撮影時に画面に表示される画像の立体感を調整する機能です。



1 MANUALボタンを押して、立体感を調整できるようにする。

押すたびに立体感の調整可能/不可が切り替わります。

2 MANUALダイヤルを回して、画面を確認しながら立体感を調整する。

操作できる項目

動画モード

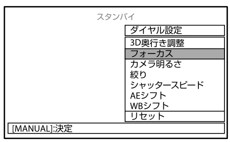
- ［3D奥行き調整］
- ［フォーカス］…55ページ
- ［カメラ明るさ］…55ページ
- ［AEシフト］…56ページ
- ［WBシフト］…56ページ

静止画モード

- ［フォーカス］…55ページ
- ［カメラ明るさ］…55ページ
- ［絞り］…56ページ
- ［シャッタースピード］…56ページ
- ［AEシフト］…56ページ
- ［WBシフト］…56ページ

メニュー項目を割り当てるには

① MANUALボタンを数秒間押し続ける。
［ダイヤル設定］画面が表示されます。



② MANUALダイヤルを回して、割り当てたい項目を選ぶ。
③ MANUALボタンを押す。

ご注意

- いったん設定内容を固定したあと、別の項目の設定を行っても、先に行った設定の内容はそのまま保持されます。ただし、［AEシフト］を手動設定したあとで［カメラ明るさ］を設定した場合、［AEシフト］の効果は無効になります。

- [カメラ明るさ]、[絞り]、[シャッタースピード]は、同時に選択することはできません。1つ選択すると、それ以外の2つの設定は解除されます。
- 手順②で[リセット]を選択すると、手動設定した項目がすべてお買い上げ時の設定に戻ります。

ちょっと一言

- [3D奥行き調整]設定時に画面右側の RESET を選んでEnterを押すと、元の設定に戻ります。
- [3D奥行き調整]以外のメニュー項目は、MANUALボタンを押すたびに自動/手動が切り替わります。
- MENU(メニュー)→[カメラ・マイク]→[(カメラ設定)]→[ダイヤル設定]でメニュー項目を割り当てることもできます。
- 絞りをF3.4より開いた値(小さい絞り値)に設定しても、W側(広角)からT側(望遠)にズームするにつれて、絞り値はF3.4に変化します。
- 絞りを変えることで、ピントの合う範囲が変わります。絞りを開ける(絞り値が小さい)ほどその範囲が狭くなり、絞りを絞る(絞り値が大きい)ほどその範囲が広くなります。撮影の意図によって絞りの効果を使い分けることができます。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面がちらついたり(フリッカー現象)、色が変化したりすることがあります。 このようなときは、電源周波数が50Hzの地域(関東地方など)ではシャッタースピードを1/100、60Hzの地域(関西地方など)では1/60に設定することをおすすめします。
- 撮影時の設定によって表示されるカメラデータが異なります(63ページ)。次のアイコンで表示されます。
  - オート:オート時
  - マニュアル:画像明るさマニュアル設定時

画像を削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分のメモリーカードの容量を元に戻すことができます。

ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- 画像の削除中はメモリーカードを抜かないでください。
- プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(34ページ)。

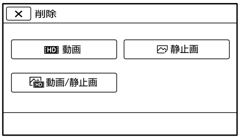
ちょっと一言

- 再生画面の 🗑 からも行えます。
- メモリーカードに保存されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、フォーマットしてください(63ページ)。
- インデックス画面のように多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことを「サムネイル」といいます。

1 **(画像再生)ボタンを押す(23ページ)。**

2 **▲/▼/◀/▶/Enterボタンで MENU (メニュー)→[編集・コピー]→[削除]を選ぶ。**

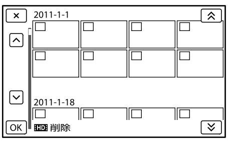
3 **画像を選択して削除するときは、[画像選択]→[HD 動画]/[静止画]/[動画/静止画]*を選ぶ。**



* 3Dモードのときは、動画のみ削除できます。

4 **削除したい動画・静止画を選んで、Enterボタンを押す。**

画像に✔マークがつきます。

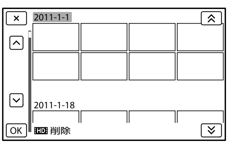


- サムネイル上でPHOTOを押すとプレビューできます。✕ で選択画面に戻ります。

5 **OK → OK → OK を選ぶ。**

動画・静止画をイベントごとにまとめて削除するには

① 手順3で[イベント内全て]を選ぶ。



② ⌃/⌄ で、削除したいイベントを選んで、OK を選ぶ。

- サムネイル上でPHOTOを押すとプレビューできます。✕ で選択画面に戻ります。

③ OK → OK を選ぶ。

記録した画像を保護する（プロテクト）

動画・静止画を誤って削除してしまうことを防ぐことができます。

1 **▶（画像再生）ボタンを押す（23ページ）。**

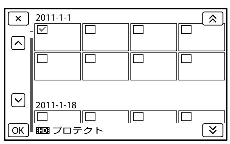
2 **▲/▼/◀/▶/Enterボタンで MENU（メニュー）→[編集・コピー]→[プロテクト]を選ぶ。**

3 **画像を選択してプロテクトするときは、[画像選択]→[HD 動画]/[静止画]/[動画/静止画]*を選ぶ。**

* 3Dモードのときは、動画のみプロテクトできます。

4 **プロテクトする動画・静止画を選んでEnterボタンを押す。**

画像に✔マークがつきます。



- サムネイル上でPHOTOを押すと、プレビューできます。 × で選択画面に戻ります。

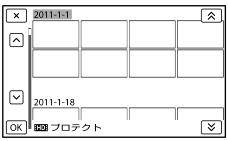
5 OK → OK → OK を選ぶ。

プロテクトを解除するには

手順4で✔マークがついている動画・静止画を選んでEnterボタンを押す。
✔マークが消えます。

撮影したイベントごとにまとめてプロテクトするには

① 手順3で[イベント内全て設定]を選ぶ。



② ⌃ / ⌄ で、プロテクトしたいイベントを選んで、 OK を選ぶ。
- サムネイル上でPHOTOを押すと、プレビューできます。 × で選択画面に戻ります。

③ OK → OK を選ぶ。

撮影したイベントごとにプロテクトを解除するには

手順3で[イベント内全て解除]を選んで、プロテクトを解除したいイベントを選び、 OK → OK → OK を選ぶ。

動画を分割する

撮影した動画を分割することができます。不要な部分を削除するときなどに使います。

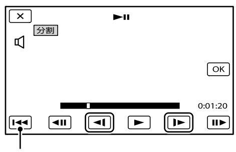
1 ▲/▼/◄/►/Enterボタンで、動画の再生中に表示されている ✎ →[分割]を選ぶ。

2 ► を選んで動画を再生する。

3 分割したいところで ❚❚ を選ぶ。

再生が一時停止します。

4 ◄❚ / ❚► で分割位置を微調整する。



選んだ動画の先頭に戻る

5 OK → OK を選ぶ。

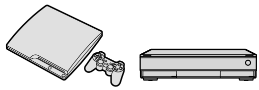
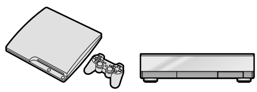
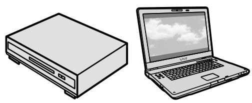
ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- プロテクトされた動画は分割できません。分割するにはプロテクトを解除してください(34ページ)。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。

- 動画の分割中はメモリーカードを抜かないでください。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、⏸ で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。
- 本機では、簡易的な編集ができます。さらに編集する場合には、付属のソフトウェア「PMB」をお使いください。

ディスクの作りかたを選ぶ（パソコン）

撮影した動画や静止画からディスクを作成する方法を説明します。再生機器に合わせて作りかたを選びましょう。

ディスクの種類	作りかた	再生機器
 **ハイビジョン画質で残したい**	**① パソコンに保存する（37ページ）。** ↓ **② ブルーレイディスク*を作る（40ページ）。**	**ブルーレイディスク再生機器** （ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など） 
 **ハイビジョン画質で残したい**	**ワンタッチでディスクを作る（ワンタッチディスク）。** ――― **① パソコンに保存する（37ページ）。** ↓ **② AVCHD記録ディスクを作る（39ページ）。**	**AVCHD規格対応再生機器** （ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など） 
 **標準画質で残したい**	**① パソコンに保存する（37ページ）。** ↓ **② 標準画質のディスクを作る（39ページ）。**	**一般的なDVD再生機器** （DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど） 

* ブルーレイディスクを作成するには、BD アドオン ソフトウェアをインストールする必要があります（40ページ）。

「PMB」で使えるディスクの種類

「PMB」では以下の12cmのディスクを使えます。ブルーレイディスクについては、40ページをご覧ください。

ディスクの種類	特徴
DVD-R / DVD+R / DVD+R DL	書き換えできません。
DVD-RW / DVD+RW	書き換えて再利用できます。

ご注意

- 「プレイステーション 3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのウェブサイトをご覧ください。
  http://www.jp.playstation.com/ps3/update/

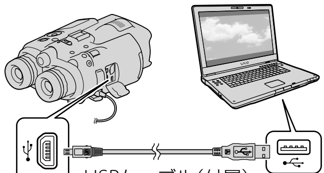
パソコンに保存する

本機で撮影した動画・静止画をパソコンに取り込みます。パソコンの電源は入れておきます。

ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(12ページ)。

1 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ。



USBケーブル(付属)

本機の画面に[USB機能選択]画面が表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶で、[USB接続]を選んで、Enterを押す。

- [USB機能選択]画面が表示されないときは、MENU(メニュー)→[セットアップ]→[⇄(⇄ 接続)]→[USB接続]を選ぶ。

パソコンの画面に取り込み画面が表示されます。
取り込み先を変更したいときは、[PMB]→[ツール]→[設定]→[取り込み先]→[参照]で取り込みたい場所を選択してください。

3 [取り込み開始]をクリックする。

- 詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。



取り込みが始まります。
取り込みが完了すると、「PMB」画面が表示されます。

ワンタッチでディスクを作る
（ワンタッチディスク）

本機で撮影した動画・静止画のうち、まだワンタッチディスク機能を使ってディスクに保存していない動画・静止画を自動的に選んで保存します。画質は撮影したときの画質で保存されます。

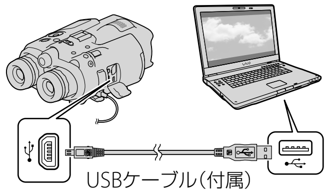
ご注意

- 2D（お買い上げ時の設定）で撮影した動画の場合は、AVCHD記録ディスクが作成されます。
- 以下の場合は、AVCHD記録ディスクは作成できません。
  – 3Dで撮影した動画
  – [録画モード]を[最高画質 FX]または[60p画質 PS]（[50p画質 PS]）にして撮影した動画
- ワンタッチディスクで、ブルーレイディスク作成はできません。
- ハイビジョン画質の動画から標準画質のディスクを作成する場合は、いったん動画をパソコンに保存して（37ページ）から、標準画質のディスクを作成してください。
- あらかじめ「PMB」をインストールしてください。ただし、「PMB」は起動しないでください。
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（12ページ）。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに未使用のディスクを入れる。

- 使用できるディスクの種類は36ページをご覧ください。
- 「PMB」以外のソフトウェアが自動で起動した場合は終了してください。

2 本機の電源を入れ、USBケーブル（付属）で本機とパソコンをつなぐ。



本機の画面に［USB機能選択］画面が表示されます。

3 ▲/▼/◀/▶で［ワンタッチディスク］を選び、Enterを押す。

4 パソコンの画面の指示に従って操作する。

ご注意

- ワンタッチディスクでは、パソコンに動画・静止画は保存されません。
- ワンタッチディスクの操作中、パソコンの画面に"ハンディカム"と表示される場合がありますが、本機と直接関係はありません。

ディスクに保存する

パソコンに取り込んだ(37ページ)動画を選んで、ディスクに保存できます。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに未使用のディスクを入れる。

- 使用できるディスクの種類は36ページをご覧ください。
- 「PMB」以外のソフトウェアが自動で起動した場合は終了してください。

2 「PMB」を起動する。

3 [カレンダー][インデックス]をクリックして日付やフォルダーを選び、書き込む動画を選ぶ。

- ハイビジョン画質の動画にはHDアイコンが付いています。
- Ctrlキーを押しながらサムネイルをクリックすると複数の動画を選べます。

4 (ディスク作成)をクリックして、作成したいディスクを選ぶ。



動画の選択画面が表示されます。

AVCHD (HD)作成	DVDにハイビジョン画質で保存します。
DVD-Video (STD)作成	DVDに標準画質で保存します。標準画質に変換するために記録時間以上の時間がかかります。

- 動画を選択したいときは、メイン画面で追加する動画を選び、動画の選択画面にドラッグアンドドロップします。

5 画面の指示に従ってディスクを作成する。

- ディスクの作成には時間がかかることがあります。

AVCHD記録ディスクをパソコンで再生するには

「PMB」と同時にインストールされる「Player for AVCHD」を使って再生できます。
起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[PMB]→[PMBランチャー]→[見る]→[Player for AVCHD]の順にクリックします。操作方法は「Player for AVCHD」のヘルプをご覧ください。

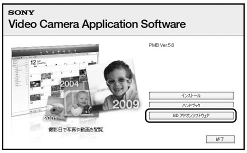
ご注意

- パソコンの環境によっては、動画がなめらかに再生できないことがあります。

ブルーレイディスクを作るには

パソコンに取り込んだ(37ページ)動画から、ブルーレイディスクを作成できます。作成するにはBD アドオンソフトウェアをインストールする必要があります。「PMB」のインストール画面で[BDアドオンソフトウェア]をクリックし、画面の指示に従って、インストールしてください。

• インストールには、お使いのパソコンをインターネットに接続する必要があります。



「ディスクに保存する」(39ページ)の手順1で、ディスクドライブに未使用のブルーレイディスクを入れ、手順4で (ディスク作成)→[Blu-ray Disc(HD)作成]をクリックします。他の操作手順は同じです。

ご注意

• お使いのパソコンが、ブルーレイディスク作成に対応している必要があります。
• ディスクは、BD-R(書き換え不可)、BD-RE(書き換え可)が使えます。追加記録はできません。
• [60p画質 PS]([50p画質 PS])や、3Dで撮影した動画から作成したブルーレイディスクを再生するには、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器が必要です。

ディスクをコピーするには

「Video Disc Copier」を使って、記録済みのディスクをコピーできます。

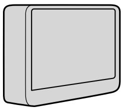
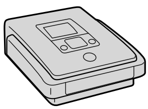
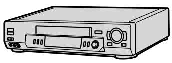
[スタート]→[すべてのプログラム]→[PMB]→[PMBランチャー]→[ディスク作成]→[Video Disc Copier]の順にクリックして起動します。操作方法は「Video Disc Copier」のヘルプをご覧ください。

ご注意

• ハイビジョン画質の動画を標準画質に変換してコピーはできません。
• ブルーレイディスクはコピーできません。

他機を使った保存のしかたを選ぶ

撮影した動画を他機に保存する方法を説明します。機器に合わせて保存のしかたを選びましょう。

画像	他機	使うケーブル	ページ
	**外付けメディア** ハイビジョン画質で保存。	USBアダプターケーブル(DEV-5Kのみ付属)	43
3D/2D 	**ソニー製ブルーレイディスクレコーダー** ハイビジョン画質でブルーレイディスクレコーダーや、ディスクに保存。	USBケーブル(付属)	46
	**DVDirect Express以外のDVDライター** ハイビジョン画質でDVDに保存。	USBケーブル(付属)	47
2D 	**HDDレコーダーなど** 標準画質でDVDに保存。	A/V接続ケーブル(付属)	48

ご注意

- ハイビジョン画質で記録したDVDは、AVCHD規格に対応した機器で再生してください。
- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質を記録したDVDを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。

保存できるメディアについて

30ページをご覧ください。

ディスクを再生できる機器は

ブルーレイディスク

ソニー製ブルーレイディスクプレーヤーや、プレイステーション3などのブルーレイディスク再生機器で、再生できます。ただし、アップグレード対象のソニー製ブルーレイディスクレコーダー（47ページ）で作成した3D動画のディスクは、その機種でしか再生できません。

ハイビジョン画質を保存したDVD

ソニー製のブルーレイディスクプレーヤーや、プレイステーション3などのAVCHD規格対応の再生機器で、再生できます。

標準画質を保存したDVD

DVDプレーヤーなどの一般的なDVD再生機器で、再生できます。

ご注意

- 「プレイステーション3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。
  アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピューターエンタテイメントのウェブサイトをご覧ください。
  http://www.jp.playstation.com/ps3/update/

外付けメディアを使って保存する

外付けハードディスクなどのメディアに、本機の動画・静止画を保存できます。また、保存した画像を本機などで再生して楽しめます。

ご注意

- この操作にはUSBアダプターケーブルVMC-UAM1（DEV-5Kのみ付属）が必要です。
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（12ページ）。
- お使いの外付けメディアの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ちょっと一言

- 3Dで撮影した動画を外付けメディアに保存した場合は、3Dのままお楽しみいただけます。
- 外付けメディアに保存した画像は、付属のソフトウェア「PMB」で取り込むこともできます。

外付けメディアに保存後にできること

- 本機を経由した画像の再生（45ページ）
- 「PMB」への取り込み（37ページ）

使用できない外付けメディアについて

次の機器は外付けメディアとして使えません。

- 容量が2TBを超える外付けメディア
- 一般のDVDドライブやCDドライブなどのディスクドライブ
- ハブを経由してつないでいる外付けメディア
- 内部にハブを構成している外付けメディア
- カードリーダー

ご注意

- 暗号機能のある外付けメディアは、使えない場合があります。
- ファイルシステムとしてFATを採用しています。NTFSなど他機でフォーマットされた外付けメディアの場合は、本機でフォーマットしてからお使いください。フォーマット画面は接続時に表示されます。また、FATのメディアでもフォーマット画面が表示されることがあります。接続する機器に大切なデータが残っていないことを確認したうえでフォーマットを行ってください。
- 動作条件に該当するすべての機器の動作を保証するものではありません。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ（12ページ）。

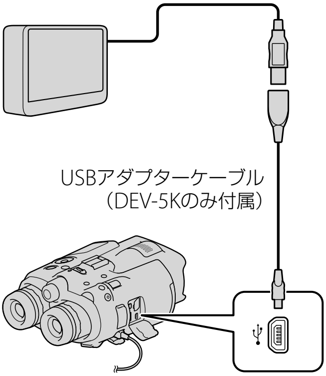
2 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ。

3 USBアダプターケーブル（付属）と外付けメディアをつなぐ。

4 USBアダプターケーブル（付属）と本機のψ（USB）端子をつなぐ。

［管理ファイル準備中］が表示されている間はUSBケーブルを抜かないでください。また、本機に［管理ファイル修復］画面が表示されたら、OK を選んでEnterを押してください。

他機を使って保存する



5 外付けメディアと接続して、本機の画面で［コピーする］を選ぶ。

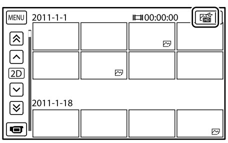
外付けメディアに保存されていない画像が保存されます。

- 本機に新たに記録した画像がない場合、できません。

6 終了するには OK を選ぶ。

外付けメディアと接続中は

外付けメディアに保存した画像が、本機の画面に表示されます。外付けメディアに記録した画像ではインデックスなどの画面でUSBアイコンが表示されます。



画像の削除など、外付けメディアに関する設定ができます。インデックス画面で MENU（メニュー）→［編集・コピー］を選んでください。

接続を終了するには

① 外付けメディアのインデックスで を選ぶ。

② USBアダプターケーブルを取り外す。

ご注意

- 外付けメディアに保存可能なシーン数は次のとおりです。外付けメディアに空き容量があっても、これを超えて保存することはできません。
  - 動画：2D/3Dそれぞれで最大3,999個
  - 静止画：最大40,000枚

  本機の設定や撮影された画像によっては、保存可能なシーン数が減ることがあります。

好みの動画・静止画を保存する

保存したい画像を選んで保存できます。

1 外付けメディアと接続して、［コピーしないで再生する］を選ぶ。

外付けメディアのインデックス画面が表示されます。

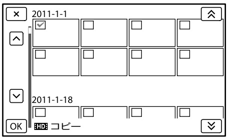
2 MENU（メニュー）→［編集・コピー］→［コピー］を選ぶ。

3 本機の画面にしたがって、画像の選択方法や画像の種別を選ぶ。

- 外付けメディアから本機へコピーすることはできません。

4 [画像選択]を選んだときは、保存したい画像を選んでEnterボタンを押す。

✔が表示されます。



- サムネイル上でPHOTOを押すと、プレビューできます。 × で選択画面に戻ります。
- [イベント内全て]を選んだときは、⌃/⌄ でコピーするイベントを選んでください。複数のイベントは選べません。

5 本機で OK → OK → OK を選ぶ。

外付けメディアの画像を本機で見る

1 外付けメディアと接続して、[コピーしないで再生する]を選ぶ。

外付けメディアの画像がインデックス画面で表示されます。

2 見たい画像を選んでEnterボタンを押し、再生する(23ページ)。

- 本機をテレビにつないで画像を楽しむこともできます(25ページ)。
- ハイビジョン画質の動画は、「Player for AVCHD」を使ってパソコンで再生できます。「Player for AVCHD」を起動し(39ページ)、[設定]で外付けメディアの接続されているドライブを選んでください。

手動でかんたんコピーする

本機と外付けメディアの接続中に手動でかんたんコピーができます。

① 外付けメディアのインデックス画面で MENU(メニュー)→[編集・コピー]→[ダイレクトコピー]を選ぶ。
② [コピーしていない画像をコピーします]を選ぶ。
③ OK → OK を選ぶ。

ご注意

- 本機が外付けメディアを認識しないときは、次の操作を行ってください。
  - USBアダプターケーブルを差し直す。
  - 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ。

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って保存する

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って、ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクにダビングしたり、ディスクを作成したりできます。
お使いの機器によっては操作が異なる場合がありますので、レコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

使えるディスク

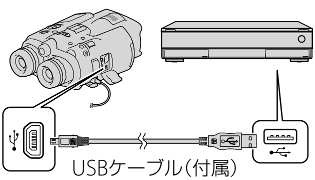
お使いのブルーレイディスクレコーダーによって使えるディスクが異なります。ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

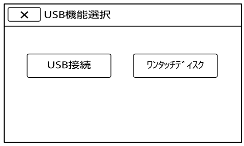
- お使いのブルーレイディスクレコーダーの種類によっては、USB端子が無い場合があります。その場合は、A/V接続ケーブルで接続してください(48ページ)。
- [60p 画質 PS]([50p 画質 PS])や、3Dで撮影した動画を保存するには、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(12ページ)。

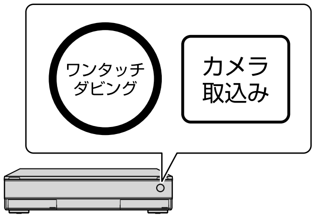
2 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機とブルーレイディスクレコーダーをつなぐ。



3 本機の画面で、[USB接続]を選びEnterボタンを押す。



4 ブルーレイディスクレコーダーの「カメラ取込み」ボタンあるいは「ワンタッチダビング」ボタンを押す。



カメラ取り込みがされていない画像が取り込まれます。

- USB端子があっても上記のボタンが搭載されていないレコーダーについてはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

5 終了するには、本機の画面で [×] → [OK] を選ぶ。

6 USBケーブルを取り外す。

ブルーレイディスクにダビングするには

ブルーレイディスクにダビングする方法は、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 以下のソニー製ブルーレイディスクレコーダーで3D動画をブルーレイディスクに保存する場合は、2011年5月から実施されているソフトウェア放送ダウンロードで、機能をアップデートする必要があります。
  BDZ-AX2000/AX1000/AT900/AT700/AT500/AT300S
- アップグレード対象機種で作成した3D動画のディスクは、その機種でしか再生できません。また、これらの機種のハードディスクに3D動画は保存できません。直接ブルーレイディスクに保存してください。詳細はブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 2011年8月以降に発売のソニー製ブルーレイディスクレコーダーでは、3Dや[60p画質 PS]([50p画質 PS])の動画を保存できます。

DVDirect Express以外のDVDライターでハイビジョン画質のディスクを作る

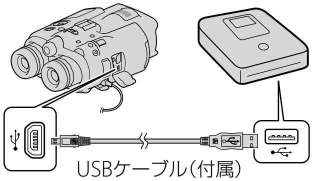
ハイビジョン画質対応のソニー製DVDライターなどのディスク作成機器と本機を、USBケーブルで接続します。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 3D動画は保存できません。
- ソニー製DVDirect(DVDライター)を使うときは、DVDライターのファームウェアが最新版であることをご確認ください。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/dvdirect/

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(12ページ)。

2 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機とDVDライターなどをつなぐ。



[USB機能選択]画面が表示されます。

- [USB機能選択]画面が表示されないときは、MENU(メニュー)→[セットアップ]→[⇄(⇄ 接続)]→[USB接続]を選んで表示させてください。

他機を使って保存する

3 本機の画面で、[USB接続]を選びEnterボタンを押す。

4 接続先機器で録画操作を行う。

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

5 ディスク作成が終わったら、本機の画面で ✕ → OK を選ぶ。

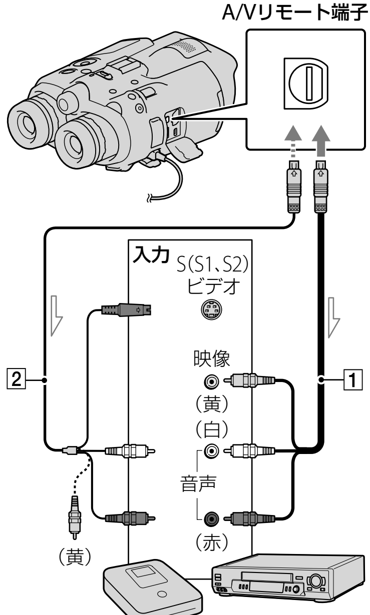
6 USBケーブルを取り外す。

レコーダーなどで標準画質のディスクを作る

本機をディスクレコーダーや、DVDirect Express以外のソニー製DVDライターなどにA/V接続ケーブルで接続すると、本機の画像を他のディスクやビデオカセットへコピーできます。次図の1か2どちらかの方法で接続してください。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 3D動画は2Dの標準画質に変換されます。
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(12ページ)。
- ハイビジョン画質で記録された画像は、標準画質でコピーされます。



信号の流れ

1 A/V接続ケーブル(付属)

2 S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル(別売)

A/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

1 録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。

- 入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

2 本機と録画側のディスクレコーダーなどを、A/V接続ケーブル 1 (付属)、またはS映像端子付きA/V接続ケーブル 2 (別売)でつなぐ。

- 接続先機器の入力端子につないでください。

3 本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ダビングが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

ご注意

- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化する場合があります。
- HDMIケーブルを使ってダビングできません。
- 日時やカメラデータ、緯度経度データ(DEV-5/5K)をダビングしたいときは、MENU(メニュー) →[セットアップ] →[▶(▶ 再生設定)] →[日付/データ表示] → お好みの設定 → OK を選んでください。
- テレビなどの表示機器の画面サイズが4:3の場合は、MENU(メニュー) →[セットアップ] →[⇄(⇄ 接続)] →[TVタイプ] → [4:3] → OK を選んでください。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力・出力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつなぎます。

メニューを使いこなそう

メニューを使いこなすことで、「撮影」「再生」「保存」をさらに楽しめます。
本機のメニューは大きく6つのカテゴリーに分類されており、その下にさまざまなメニュー項目があります。

撮影モード（撮影の種類に関する設定）→ 54ページ

カメラ・マイク（好みの撮影をするときの設定）→ 54ページ

画質・画像サイズ（画質や画像サイズに関する設定）→ 61ページ

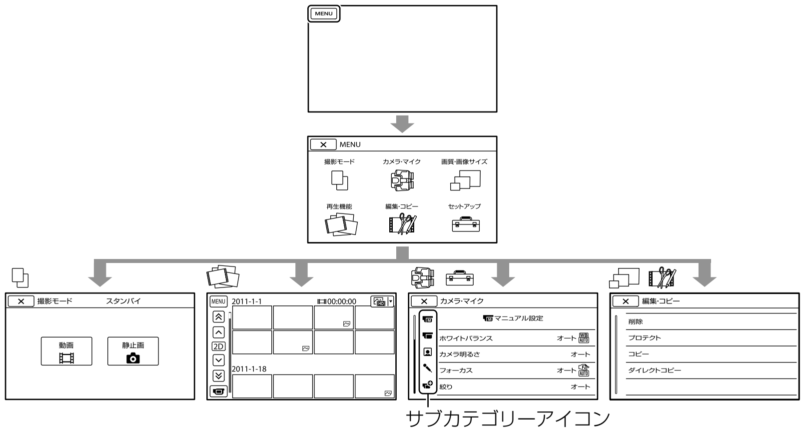
再生機能（再生に関する設定）→ 23ページ

編集・コピー（編集に関する設定）→ 62ページ

セットアップ（その他のいろいろな設定）→ 63ページ

メニューの操作方法

本機の▲/▼/◀/▶/Enterボタンで MENU（メニュー）を選び、お好みの項目を設定してください。



- [カメラ・マイク]、[セットアップ]にはサブカテゴリーがあります。サブカテゴリーアイコンを選ぶと、サブカテゴリーごとに移動します。
- 灰色で表示されるメニュー項目や設定は使えません。

ご注意

- 本機の状態によっては、設定できないメニュー項目があります。
- メニューを終了する、または前のメニューに戻るには ✕ を選びます。

メニュー一覧

動画モード(▮▮)と静止画モード(📷)で使用できるメニューが異なります。

撮影モード

動画	動画を撮影する。	21
静止画	静止画を撮影する。	22

カメラ・マイク

M(M マニュアル設定)		
ホワイトバランス	撮影する場面に合わせて色合いを調節する。	54
カメラ明るさ	画像の明るさを手動で設定する。	55
フォーカス	ピントを手動で設定する。	55
絞り	絞りを設定する。	56
シャッタースピード	シャッタースピードを設定する。	56
AEシフト	自動露出調整の明るさを調整する。	56
WBシフト	ホワイトバランスを手動で設定する。	56
Low Lux	薄暗い場所で明るくカラーで撮影する。	57
(カメラ設定)		
自動3Dレンズ調整	立体感のある3D動画を撮影するためにレンズを調整する。	57
シーンセレクション	夜景や海岸など場面に合った設定を選択する。	57
📷 セルフタイマー	セルフタイマーを使う。	58
テレマクロ	背景をぼかして、被写体をより際立たせる。	58
▮▮ 手ブレ補正(動画)	動画撮影時の手ブレ補正を設定する。	58
📷 手ブレ補正(静止画)	静止画撮影時の手ブレ補正を設定する。	58
デジタルズーム*	デジタルズームを設定する。	59
自動逆光補正	自動で逆光補正をする。	59
ダイヤル設定	MANUAL(マニュアル)ダイヤルに機能を割り当てる。	31
(顔)		
顔検出	人物の顔を検出する。	59
(マイク)		
風音低減	内蔵マイクの風音低減を設定する。	59
マイク基準レベル	録音レベルを設定する。	60
音声出力タイミング	撮影時の音声出力のタイミングを設定する。	60

(撮影補助)

ガイドフレーム	水平/垂直の目安になる枠を表示する。	60
画面表示設定	ファインダーに画面表示が表示される時間を設定する。	60

画質・画像サイズ

録画モード	録画モードを設定する。	29
フレームレート	フレームレートを設定する。	61
2D/3Dモード切換	2D記録と3D記録を切り換える。	61
x.v.Color	x.v.Colorに対応したテレビで見るときに設定する。	61
画像サイズ	静止画の画像サイズを設定する。	62

再生機能

	動画や静止画を再生します。	32

編集・コピー

削除	画像を削除する。	32
プロテクト	誤消去防止のため、画像をプロテクトする。	33
コピー	外付けメディアに画像を選んでコピーする。	44
ダイレクトコピー	外付けメディアに保存していないすべての画像をコピーする。	45

セットアップ

(メディア設定)

メディア情報	メモリーカードの情報を表示する。	63
フォーマット	メモリーカードをフォーマットする。	63
管理ファイル修復	管理ファイルを修復する。	74、78
ファイル番号	静止画のファイル番号のつけかたを選ぶ。	63

(再生設定)

日付/データ表示	撮影時に自動的に記録された情報を表示する。	63
音量	再生時の音量、撮影時のヘッドホン音量を調節する。	24、64

(接続)

TVタイプ	テレビの横縦比に合わせて設定を変える。	64
コンポーネント出力	コンポーネント入力端子のあるテレビと接続するときに選ぶ。	65

HDMI 3D方式切換	HDMIケーブルで本機と3D対応テレビを接続するときの出力フォーマットを選ぶ。	65
HDMI解像度	HDMI端子からテレビに出力する信号の種類を選ぶ。	65
HDMI機器制御	HDMIケーブル（別売）で接続した機器から本機を操作できるようにする。	65
USB接続	USBケーブルで接続する。	66
ワンタッチディスク	パソコンなどを接続してこの項目を選択することで、画像をディスクに保存できる。	66
（ 一般設定）		
ファインダー明るさ	ファインダーの明るさを調節する。	66
ファインダー調整	ファインダーに表示される画面の上下相対位置を調整します。	66
GPS情報*	GPSの測位情報を表示する。	66
GPS*	GPS信号を受信するかどうか設定する。	66
録画ランプ	本体後面の録画ランプを消す。	67
操作音	操作音を出す。	67
自動電源オフ	[自動電源オフ]の設定を変える。	67
言語設定	画面表示の言語を選ぶ。	67
60i/50i切換	1080/60i（NTSC方式）と1080/50i（PAL方式）を切り換える。	67
バッテリーインフォ	バッテリー残量の目安を表示する。	67
（ 時計設定）		
日時設定	日時を設定する。	67
エリア設定	時差を設定する。	68
自動時刻補正*	GPS情報を取得して自動的に日時を合わせる。	68
自動エリア補正*	GPS情報を取得して自動的に時差を補正する。	69

* DEV-5/5K

撮影モード
（撮影の種類に関する設定）

メニューの操作方法は50ページをご覧ください。

動画

動画を撮影するモードにします。

静止画

静止画を撮影するモードにします。

カメラ・マイク
（好みの撮影をするときの設定）

メニューの操作方法は50ページをご覧ください。
▶はお買い上げ時の設定です。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。



▶ **AUTO（オート）**
自動調節される。

（屋外）
次の撮影環境に合った色合いになる。
- 屋外
- 夜景やネオン、花火など
- 日の出、日没など
- 昼光色蛍光灯の下

（屋内）
次の撮影環境に合った色合いになる。
- 屋内
- ステージ上など照明状況が変化する場所
- ビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

（ワンプッシュ）
光源に合わせてホワイトバランスを固定する。
① を選ぶ。
② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。
③ SETを選ぶ。

ご注意
- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]に設定するか[ワンプッシュ]の手順で色合いを調節してください。

- [ワンプッシュ]設定時 は、白いものを映し続けてください。
- [ホワイトバランス]を設定すると[シーンセレクション]が[オート]になります。

ちょっと一言

- [オート]でバッテリーを交換したときや屋内外を移動したときは、10秒ほど白っぽい被写体を映すと、より良い色合いになります。
- [ワンプッシュ]設定中に、屋外と屋内を行き来したりしたなど照明条件が変わったときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。

カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり、暗すぎたりするときなどに調節します。



▶ **オート**
自動で調節される。

マニュアル
手動で調節する。

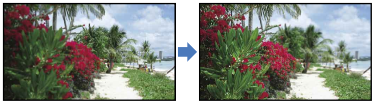
[マニュアル]のときは、 / を選び、Enterボタンを押して、明るさを調節します。

ちょっと一言

- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます（31ページ）。

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。



▶ **オート**
自動で調節される。

マニュアル
手動で調節する。

[マニュアル]のときは、（近くにピント合わせ）/（遠くにピント合わせ）を選び、Enterボタンを押して、ピントを調節します。

ご注意

- マニュアルに設定すると、が表示されます。

ちょっと一言

- それ以上近くにピントを合わせられないときは が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは が表示されます。
- ピントは、はじめにズームをT側（望遠）にしてピントを合わせてから、W側（広角）に戻していくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。
- 次のとき、フォーカス距離情報（ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します）を数秒間表示します。
  - ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
  - フォーカスを手動調節したとき
- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます（31ページ）。

絞り

絞り優先で撮影します。絞りを調節することで、背景をぼかして被写体をより引き立てたり、逆に背景にもピントがあった撮影ができます。

▶ **オート**
自動で調節される。

マニュアル
手動で調節する。

ちょっと一言

- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます（31ページ）。

シャッタースピード

シャッタースピード優先で撮影します。シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体などを撮影するときなどに一瞬を切り出すことができ、遅くすると、水の流れなどを動きのある表現でとらえることができます。

▶ **オート**
自動で調節される。

マニュアル
手動で調節する。

ちょっと一言

- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます（31ページ）。

AEシフト

自動露出調整の明るさを調節できます。

▶ **切**
自動で調節される。

入（設定した数値とEV）
手動で調節する。
明るくするには ＋、暗くするには
－ を選び、Enterボタンを押して調節する。

ちょっと一言

- ［カメラ明るさ］が［オート］のときに使うと、明るさを明るめ/暗めに設定できます。
- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます（31ページ）。

WBシフト（ホワイトバランスシフト）

ホワイトバランスをお好みに合わせて調節できます。

▶ **切**
自動で調節される。

入（WSと設定した数値）
手動で調節する。

ちょっと一言

- 数値を下げると画像が青みがかり、数値を上げると赤みがかります。
- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます（31ページ）。

Low Lux

薄暗いところで明るくカラーで撮影できます。

▶ **切**
Low Lux機能を使わない。

入( )
Low Lux機能を使う。

自動3Dレンズ調整

奥行き感、立体感のある動画をファインダーに表示する、または3D動画を撮影するために、撮影時の画像の上下位置を調整します。
インジケーターの目盛りが◀を超える被写体を画面に表示して OK を選んでください(16ページ)。

ご注意

- [自動3Dレンズ調整]は以下の場合に行ってください。
  – 3D動画に違和感や不快感を感じる場合
  – しばらく[自動3Dレンズ調整]を行っていない場合
  – 本機に強い衝撃が加わった場合
  – 炎天下や寒冷地など気温変化が大きい場所で使用する場合

ちょっと一言

- ズームアウトしている途中で調整に失敗した場合は、[もう一度実行]を選んでください。

シーンセレクション

▶ **AUTO(オート)**
画質を自動で調整する。

(夜景)*
三脚(別売)を使用して、夜景をきれいに撮影する。



(日の出&夕焼け)*
日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。



(打ち上げ花火)*
打ち上げ花火をきれいに撮影する。



(風景)*
遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。



(ポートレート)
背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。



(スポットライト)**
スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。



(ビーチ)**
海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。



(スノー)＊＊

ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗くなるのを防ぎ、明るくする。



＊ 遠景のみにピントが合うように設定されます。

＊＊ 近くのものにピントが合わないように設定されます。

ご注意

- [シーンセレクション]を設定すると、[ホワイトバランス]の設定が解除されます。

セルフタイマー

PHOTOボタンを押すとカウントダウンが始まり、約10秒後に静止画を撮影します。

▶ **切**

セルフタイマーを解除する。

入( )

セルフタイマーで撮影する。撮影を中止するには[リセット]を選ぶ。

ご注意

- 設定を変更したあとに[2D/3Dモード切換]の設定を変更すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

テレマクロ

背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。

▶ **切**

近接撮影を解除する。(または、ズームを広角(W側)にすると解除される。)

入(T)

ズーム(19ページ)が自動で望遠(T側)になり、約25 cmまでの近接撮影ができる。



ご注意

- 設定を変更したあとに[2D/3Dモード切換]の設定を変更すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 被写体が遠いときにはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、55ページ)。

手ブレ補正

手ブレを補正して撮影できます。
三脚(別売)を利用するときは、[切]( )にすると自然な画像になります。

▶ **アクティブ**

強い手ブレ補正効果を得る。

スタンダード

比較的安定した状態で、より広角で撮影する。

切( )

手ブレ補正機能を使わない。

ご注意

- [手ブレ補正]の設定を変更すると、画角が変わります。

手ブレ補正

手ブレを補正して撮影できます。
三脚(別売)を利用するときは、[切](　)にすると自然な画像になります。

▶ **入**
手ブレ補正機能を使う。

切(　)
手ブレ補正機能を使わない。

デジタルズーム(DEV-5/5K)

デジタルズームを使用できます。
デジタル処理のため画質は劣化します。

▶ **入**
デジタルズームを行う。

切
デジタルズームを行わない。

ちょっと一言
- 2Dモードでのみ設定を変更できます。
- 静止画撮影モードのときは[入]に固定されます。

自動逆光補正

自動で逆光補正をします。

▶ **入**
自動で逆光補正を行う。

切
逆光補正を行わない。

ダイヤル設定

31ページをご覧ください。

顔検出

人物の顔検出の設定を選びます。被写体の顔部分に合わせてフォーカス/色/露出を自動的に調節します。

オート
大人、子どもの区別なく、顔を検出する。

こども優先(　)
子どもの顔を優先的に検出する。

おとな優先(　)
大人の顔を優先的に検出する。

▶ **切(　)**
顔検出をしない。

ご注意
- 顔を検出しても、顔枠は表示されません。
- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、顔部分を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。この場合は、[顔検出]を[切]にしてください。

ちょっと一言
- 顔検出をしやすくするためには以下のような状況で撮影してください。
  - 適度に明るい場所で撮影する
  - 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする
  - 顔を本機の正面に向ける

風音低減

内蔵マイクで入力音声の低域音をカットして、風音低減をします。

▶ **切**
風音低減を行わない。

入(　)
風音低減を行う。

マイク基準レベル

録音時のマイクレベルを選べます。

▶ **標準**

周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

低(🎤↓)

周囲の音を忠実に録音する。演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[低]を選ぶ。(日常の会話の録音などには適していません。)

音声出力タイミング

撮影時の音声出力のタイミングを設定できます。

▶ **ライブ**

撮影時に聞こえる周囲の音と、ヘッドホンを通して聞こえる音の差によるエコーを防ぐ。

リップシンク

撮影時に起こる映像信号の遅延に合わせて音声も遅延させ、違和感を防ぐ。

ガイドフレーム

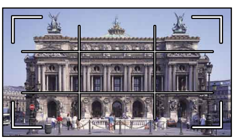
フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。
フレームは記録されません。

▶ **切**

ガイドフレームを表示しない。

入

ガイドフレームを表示する。



ご注意

- 動画撮影モードでは、ガイドフレームは表示されません。

ちょっと一言

- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- ガイドフレームの外側の枠は、フルピクセル表示機能のないテレビの表示エリアを表しています。

画面表示設定

ファインダーに画面表示が表示される時間を設定します。

▶ **オート**

画面表示を約3秒間だけ表示する。

入

画面表示を常時表示する。

ちょっと一言

- 次の操作をすると、画面表示が再表示されます。
  – 本機の電源を入れたとき
  – ▲/▼/◀/▶/Enterボタンを操作したとき
  – 動画撮影/静止画撮影/再生モードを切り換えたとき

画質・画像サイズ（画質や画像サイズに関する設定）

メニューの操作方法は50ページをご覧ください。
▶はお買い上げ時の設定です。

録画モード

29ページをご覧ください。

フレームレート

通常の撮影は[60i]（[50i]）をおすすめします。フレームレートを選んだ後に、[録画モード]の設定を行います（29ページ）。

▶ **60i（50i）**
通常の設定。

60p（50p）
60i（50i）の2倍の情報量でよりきれいに記録する。テレビで見るときに60p（50p）に対応していないテレビの場合、60i（50i）として出力される。

ご注意

- [録画モード]の設定によって、記録した動画を保存できる記録メディアが異なります。詳しくは、29ページをご覧ください。

ちょっと一言

- フレームレートとは、単位時間あたりの画面の更新回数です。

2D/3Dモード切換

本機の動作モードを2Dと3Dで切り換えることができます。

▶ **2D**
2Dで記録・再生します。

3D
3Dで記録・再生します。

ご注意

- 3Dモードでは、最大双眼鏡倍率は約5倍になります。より高倍率で被写体をモニタリング・撮影したいときは、2Dモードに切り換えてください。

x.v.Color

より広い色域で記録できます。鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを、より忠実に再現することが可能になります。

▶ **切**
通常の色域で撮影する。

入（COLOR）
x.v.Colorで撮影する。

ご注意

- x.v.Colorに対応したテレビで再生するときは、あらかじめ[入]にして撮影してください。
- [入]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。
- 動画の撮影中は、[x.v.Color]を設定できません。

画像サイズ

撮影する静止画のサイズを選びます。

4:3 7.1M
鮮明な画像を撮影する（3,072 × 2,304）。

▶ **16:9 5.3M**
鮮明な画像をワイド（16:9）で撮影する（3,072 × 1,728）。

4:3 1.9M
比較的きれいな画像をたくさん撮影する（1,600 × 1,200）。

4:3 VGA（0.3M）
たくさんの画像を撮影する（640 × 480）。

ご注意

- 設定した画像サイズは、（静止画）ランプ点灯時に有効です。
- ワイド（16:9）で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされることがあります。
- 撮影可能枚数は81ページをご覧ください。

編集・コピー（編集に関する設定）

メニューの操作方法は50ページをご覧ください。

削除

32ページをご覧ください。

プロテクト

33ページをご覧ください。

コピー

44ページをご覧ください。

ダイレクトコピー

45ページをご覧ください。

セットアップ（その他のいろいろな設定）

メニューの操作方法は50ページをご覧ください。
▶はお買い上げ時の設定です。

メディア情報

録画モードごとの録画可能時間や、メモリーカードの使用領域と空き領域の目安を確認できます。

終了するには

✕ を選ぶ。

ご注意

- 管理ファイル用領域があるため、[フォーマット]（63ページ）を行っても、使用領域の表示は0%になりません。

フォーマット

フォーマット（初期化）とはメモリーカード内の動画・静止画をすべて削除して、容量を元に戻すことです。
OK → OK を選んでください。

ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（12ページ）。
- 大切な画像は保存してから[フォーマット]してください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。
- [実行中]が表示されているときは、ボタンを操作したり、メモリーカードを取り出したり、ACアダプターを外したりしないでください（メモリーカードのフォーマット中はアクセスランプが点灯・点滅します）。

管理ファイル修復

74、78ページをご覧ください。

ファイル番号

静止画のファイル番号の付けかたを選びます。

▶ **連番**
静止画のファイル番号を連続して付ける。撮影するたびに画像のファイル番号が大きくなる。
メモリーカードを取り換えた場合も、ファイル番号は連続して付く。

リセット
メモリーカードに存在している最大ファイル番号の次の番号を付ける。
メモリーカードを取り換えた場合は、メモリーカードごとにファイル番号が付く。

日付/データ表示

撮影時に自動的に記録された情報（日付時刻データやカメラデータ）を再生時に確認できます。

▶ **切**
日付時刻データやカメラデータを表示しない。

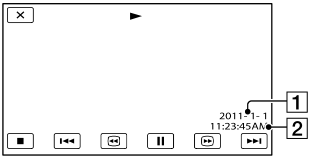
日付時刻データ
記録した画像の日付・時刻データを表示する。

カメラデータ
記録した画像のカメラデータを表示する。

緯度経度データ*
記録した画像の緯度経度データを表示する。

* DEV-5/5K

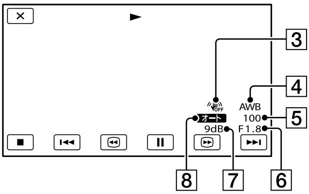
日付時刻データ



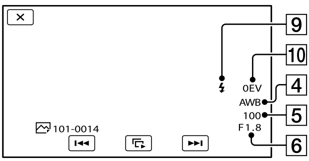
1 日付
2 時刻

カメラデータ

動画

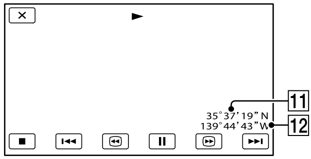


静止画



3 手ブレ補正切
4 ホワイトバランス
5 シャッタースピード
6 絞り値
7 ゲイン
8 明るさ調節
9 フラッシュ
10 露出補正量

緯度経度データ（DEV-5/5K）



11 緯度
12 経度

ちょっと一言

- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- メモリーカードの状態によっては、[-- -- --]と表示されます。

音量

/を選びEnterボタンを押して音量を調節できます。

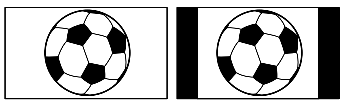
TVタイプ

つなぐテレビの横縦比に合わせて出力信号を変換します。

▶ **16:9**

ワイドテレビで再生するときに選ぶ。次のように再生される。

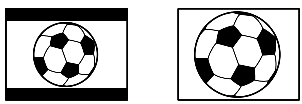
ワイド(16:9)で撮影した画像　4:3で撮影した画像



4:3

4:3テレビで再生するときに選ぶ。次のように再生される。

ワイド(16:9)で撮影した画像　4:3で撮影した画像



ご注意

- 動画を記録するときの横縦比は16:9になります。

コンポーネント出力

コンポーネント端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

480i(576i)
ハイビジョン画質に対応していないテレビにつなぐときに選ぶ。

▶ **1080i**
1080i対応テレビとつなぐときに選ぶ。

1080p
1080p対応テレビとつなぐときに選ぶ。

HDMI 3D方式切換

本機と3D対応テレビをHDMIケーブルでつなぐ場合の出力フォーマットを選びます。

▶ **オート**
通常の設定(テレビの出力可能なフォーマットをオートで出力)。

フレームパッキング
左右のハイビジョン画像をそのままの画質で出力。

サイドバイサイド
左右のハイビジョン画像の解像度を半分にし、横に並べて出力。

HDMI解像度

HDMI端子からテレビに出力する信号の種類を選びます。

▶ **オート**
通常の設定(テレビの表示可能な信号をオートで出力)。

1080p
1080pで出力する。

1080i
1080iで出力する。

720p
720pで出力する。

480p(576p)
480p(576p)で出力する。

480i(576i)
480i(576i)で出力する。

ご注意

- [フレームレート]を[60p]([50p])に設定中は、HDMI解像度の設定によって下記の制限があります。
  - [720p]、[480p]([576p])設定中：撮影中にHDMI出力ができません。

HDMI機器制御

HDMIケーブルでブラビアリンク対応のテレビとつないで再生するとき、テレビのリモコンで本機の再生操作ができます(26ページ)。

▶ **入**
テレビのリモコンで操作する。

切
テレビのリモコンで操作しない。

本機の設定を変える

USB接続

USBケーブル(付属)で本機と接続機器をつないでも[USB機能選択]画面が表示されない場合に使います。

ワンタッチディスク

38ページをご覧ください。

ファインダー明るさ

ファインダーの明るさを5段階で調節できます。

ファインダー調整

奥行き感、立体感のある画像を本機で見るために、左右のファインダーに表示される画面の上下相対位置を調整します。[+]/[−]で横線と縦線が重なるようにして、[OK]を選んでください(15ページ)。使用状況によっては、ファインダー調整を促す画面が表示されることがあります。

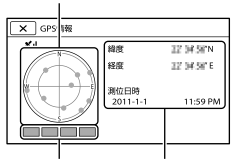
ご注意

- [ファインダー調整]は以下の場合に行ってください。調整前には眼幅調整や視度調整を行うことをおすすめします。
  - 表示に違和感や不快感を感じたとき
  - 使用者が変わったとき
  - 本機に強い衝撃が加わったとき
  - 炎天下や寒冷地など気温変化が大きい場所で使用するとき
- 縦線と横線が重ならない場合や、横線が大きく傾いている場合は、本機の使用を中止して以下にご相談ください。
  DEV-3/5:ソニーの相談窓口
  DEV-5K:ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店

GPS情報 (DEV-5/5K)

測位情報を表示します。

衛星アイコン



測位ゲージ　受信した情報

取得情報の見かた

衛星表示/測位ゲージの色	状態
●/■(黒)	信号なし/軌道情報あり
●/■(グレー)	軌道情報33%取得済み
●/■(茶色)	軌道情報66%取得済み
●/■(黄土色)	軌道情報99%取得済み
●/■(緑)	測位利用中

位置情報が測位できなかったときは

測位優先モードで起動します。他の機能を停止して衛星を探索するので、GPS信号を受信しやすくなります。

測位情報画面を閉じるには

[×]を選んで、Enterボタンを押す。

GPS(DEV-5/5K)

GPS信号を受信するか、受信しないかを切り換えます。

▶ **入**
GPS信号を受信する。

切
GPS信号を受信しない。

ご注意

- [入]にしても、測位が成功するまで位置情報は記録されません。

録画ランプ

撮影中に本体後面の録画ランプが点灯しないように設定できます。

▶ 入
点灯する。

切
点灯しない。

操作音

入
撮影スタート/ストップ時などにメロディが鳴る。

▶ 切
メロディを鳴らさない。

自動電源オフ

何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

入
自動的に電源が切れる。

▶ 切
自動的に電源は切れない。

ご注意

- コンセントにつないでいるときは、自動的に電源は切れません。

言語設定

画面上に表示する言語を設定できます。

60i/50i切換

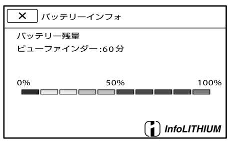
本機をお使いになる国、地域のテレビ方式によって、設定を選びます(82ページ)。テレビ方式がNTSCのときは[60i]、PALのときは[50i]を選ぶ。

ご注意

- 60i(50i)でフォーマットや記録を行ったメモリーカードは、50i(60i)では記録・再生はできません。60i/50i切り換え後、[本機と異なるビデオ信号方式の映像が 記録されています 動画の記録はできません]というお知らせメッセージが表示された場合は、別のメモリーカードをお使いになるか、[フォーマット](63ページ)をしてください。

バッテリーインフォ

装着しているバッテリー残量(撮影・再生可能時間)の目安を確認できます。



終了するには画面左上の ✕ ボタンを選んで、Enterボタンを押してください。

日時設定

■ 表示形式

年-月-日の表示順を4種類の表示順の中から選べます。

■ サマータイム

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。

▶ **切**

サマータイムに設定しない。

入

サマータイムに設定する。

■ 日時

日時を設定できます。◀/▶で項目を選んで、▲/▼で値を設定してください。

エリア設定

時計を止めることなく時差補正ができます。本機を使用する場所に適した時刻に合わせることができます。「世界時刻表」(83ページ)もご覧ください。

DEV-3

「自宅」または「訪問先」を選んでエリアを設定できます。

▶ **自宅**

お住まいの地域で使用する。

訪問先(✈)

訪問先の時刻に合わせて使用する。
訪問先のエリアを設定する。

ちょっと一言

- よく訪れる訪問先がある場合、[訪問先]に設定しておくと便利です。
- 画面左下の ☀OFF/☀ON を選んで、Enterを押すと、サマータイムを設定できます。

DEV-5/5K

エリアを設定できます。

ちょっと一言

- [自動エリア補正]が[入]の場合、GPSから受信した情報を利用して、自動的に現地時刻に設定されます。
- 画面左下の ☀OFF/☀ON を選んで、Enterを押すと、サマータイムを設定できます。

自動時刻補正(DEV-5/5K)

GPSから時刻を取得して、正確な時刻を維持します。

▶ **入**

自動で時刻を補正する。

切

自動で時刻を補正しない。

ご注意

- 時計合わせ(14ページ)をしておいてください。
- [自動時刻補正]は、数秒の誤差が生じることがあります。
- [自動時刻補正]は、本機の起動中にGPS信号を受信して測位に成功したときに時刻を補正します。一度補正したら次の起動まで行いません。
- 地域によっては、[自動時刻補正]が正確に機能しない場合があります。その場合は、設定を[切]にしてください。

自動エリア補正（DEV-5/5K）

GPSから現在地情報を取得して、時差を検出した場合、自動で補正します。

▶ **入**

自動で時差を補正する。

切

自動で時差を補正しない。

ご注意

- 時計合わせ（14ページ）をしておいてください。
- ［自動エリア補正］は、時差を検出するたびに自動で時差補正を行います。
- 地域によっては、［自動エリア補正］が正確に機能しない場合があります。その場合は、設定を［切］にしてください。

故障かな?と思ったら

困ったときは、下記の流れに従って対応してください。

① **70 ~ 79ページの項目をチェックし、本機を点検する。**

▼

② **電源を取り外し、約1分後に再び取り付け、本機の電源を入れる。**

▼

③ **RESETボタン(92ページ)を先の細いもので押してから電源を入れる。**
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。

▼

④ **DEV-3/5をお使いの方**
別紙に記載のURLからホームページなどで確認する。
ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる。
DEV-5Kをお使いの方
ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店に問い合わせる。

- 全体操作 70ページ
- バッテリー・電源 71ページ
- ファインダー 72ページ
- メモリーカード 72ページ
- 撮影 72ページ
- 再生 74ページ
- 他機でのメモリーカード再生 75ページ
- 本機での編集 75ページ
- テレビでの再生 75ページ
- ダビング・外部機器接続 75ページ
- パソコンとの接続 75ページ

全体操作

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(10ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(10ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源(バッテリーまたはACアダプターの電源コード)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET(リセット)ボタン(92ページ)を先のとがったもので押す(すべての設定が解除されます)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を入れた状態でしばらく放置する。それでも操作できないときは一度電源を切り、暖かい場所に移動してしばらくしてから電源を入れる。

メニュー項目の設定が変わっている。

- おまかせオート中は、画質に関わる設定が自動的に設定されます。
- 次のメニュー項目は、静止画撮影モードから他のモードに切り換えると、お買い上げ時の設定に戻ります。
  - [📷 セルフタイマー]
  - [テレマクロ]
  - [ホワイトバランス]
  - [絞り]
  - [シャッタースピード]

- [Low Lux]
- [シーンセレクション]
- [自動逆光補正]

本機が温かくなる。

- 使用中に本機が温かくなることがありますが、故障ではありません。

本機を振ると音がする。

- 電源を入れて撮影モードで振ったときに音がしなければ、内部のレンズが動く音です。故障ではありません。

おまかせオートが解除される。

- 次の設定を変更するとおまかせオートは解除されます。
  - [ホワイトバランス]
  - [カメラ明るさ]
  - [フォーカス]
  - [絞り]
  - [シャッタースピード]
  - [AEシフト]
  - [WBシフト]
  - [Low Lux]
  - [シーンセレクション]
  - [テレマクロ]
  - [動画 手ブレ補正]
  - [静止画 手ブレ補正]
  - [自動逆光補正]
  - [顔検出]

バッテリー・電源

電源が途中で切れる。

- ACアダプターを使用する。
- バッテリーを充電する（10ページ）。

バッテリーの充電中、CHG（充電）ランプが点灯しない。

- POWERスイッチをOFFにする。
- バッテリーを正しく取り付け直す（10ページ）。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している（10ページ）。

バッテリーの充電中、CHG（充電）ランプが点滅する。

- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できないことがあります（86ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（10ページ）。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、以下にお問い合わせください。
  DEV-3/5をお使いの方：
  ソニーの相談窓口
  DEV-5Kをお使いの方：
  ソニーの業務用商品相談窓口またはお買い上げ店

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください（87ページ）。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(87ページ)。

ファインダー

メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できない状態です。項目にカーソルを合わせてEnterを押すと、選択できない理由が表示されます。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 左右それぞれの視度調節ダイヤルを画像がはっきり見えるように調節する(14ページ)。
- ファインダーの左右間隔を見やすい位置に調整する(眼幅調整)(14ページ)。
- ファインダーの表示位置が合っているか確認する(15ページ)。
- FINDER 2D/3D(ファインダー表示切り換え)ボタンを押して、ファインダー表示を2Dに切り換える(20ページ)。

3D画像に違和感を感じる。

- [ファインダー調整]を行ってください(15ページ)。
- [3D自動レンズ調整]を行ってください(57ページ)。

ファインダーに赤、青、緑のちらつきが見える。

- ファインダー内で視線を動かした場合などに、赤、青、緑のちらつきが見えることがありますが、故障ではありません。また、それらの色のちらつきが実際にメモリーカードに記録されることはありません。

メモリーカード

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機でフォーマットする(63ページ)。

メモリーカードの画像が削除できない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトをかけた画像は削除できません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(85ページ)。

撮影

「メモリーカード」(72ページ)もご覧ください。

START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。MODEボタンを押して、(動画)ランプまたは(静止画)ランプを点灯させる(21、22ページ)。

- 直前に撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- メモリーカードの空き容量がない。不要な画像を削除する（32ページ）。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている（80、81ページ）。不要な画像を削除する（32ページ）。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。

静止画を撮影できない。

- 動画モードのときは静止画を撮影できません。MODEボタンを押して、静止画モードに切り換えてください（22ページ）。
- ［2D/3Dモード切換］が［3D］になっているときは静止画を撮影できません。［2D］に切り換えてください（61ページ）。

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなります（80ページ）。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 本機に振動を与えつづけると録画が停止することがあります。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始・終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始・終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

オートフォーカスができない。

- ［フォーカス］を［オート］にする（55ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（55ページ）。

手ブレ補正ができない。

- ［ 手ブレ補正］を［アクティブ］または［スタンダード］、［ 手ブレ補正］を［入］にする（58ページ）。
- ［ 手ブレ補正］が［アクティブ］または［スタンダード］、［ 手ブレ補正］が［入］になっていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- ズーム倍率が大きい場合は、効果を感じにくいことがあります。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子（CMOSセンサー）の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、レンズの前を非常に速く横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

横帯が現れる。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [手ブレ補正]を[アクティブ]以外に設定する（58ページ）。

音声が正しく記録されない。

- 動画記録中に外部マイクなどを抜いた場合、音声が正しく記憶されない場合があります。
- 動画記録開始時のマイク接続状態に戻すことで正しく記録されます。

再生

画像を再生できない。

- 他機で撮影した動画・静止画は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。
- 3Dモードのときは、2Dで記録された動画は再生できません。

静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります（ファイル名が点滅）。故障ではありません。

サムネイル画像の代わりに ? が表示される。

- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した画像などはこのように表示されることがあります。
- 撮影後に画面右上のメモリーカードアイコン点灯中や、アクセスランプが消える前に、本機からACアダプターやバッテリーを外した。この操作をすると、画像データが壊れて ? が表示されることがあります。

サムネイル画像の代わりに が表示される。

- 管理ファイルが壊れている。MENU（メニュー）→[セットアップ]→[（ メディア設定）]→[管理ファイル修復]の順に選んで、管理ファイルの状態をチェックする。それでも消えない場合は が表示されている画像を削除する（32ページ）。

音声が小さい、または聞こえない。

- 音量を大きくする（24ページ）。
- [マイク基準レベル]（60ページ）を[低]にして記録すると、音声が小さくなる場合があります。

他機でのメモリーカード再生

再生できない、またはメモリーカードが認識されない。

- 再生機器がメモリーカードの再生に対応していません（3ページ）。

本機での編集

編集できない。

- 動画の状態により編集ができなくなっている。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
- プロテクトをかけた動画は分割できません。

テレビでの再生

テレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- コンポーネントA/Vケーブルを使うときは、接続する機器に合わせて［コンポーネント出力］を正しく設定する（65ページ）。
- コンポーネントビデオプラグだけでつないでいるため。コンポーネントA/Vケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ（25ページ）。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像は、HDMI出力端子から出力できません。
- S（S1、S2）映像プラグだけでつないでいるため。A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ（25ページ）。

テレビにつないで再生すると、画面の上下左右が若干切れて表示される。

- 本機の画面は記録エリア全体を表示できるフルピクセル表示のため、フルピクセル表示に対応していないテレビにつないで再生すると画面の上下左右が若干切れて表示されます。
- ［ガイドフレーム］（60ページ）の外側の枠を目安に撮影する。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- 撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。［TVタイプ］を正しく設定して再生する（64ページ）。

4:3テレビにつないで再生したら、上下に黒い帯が入る。

- 撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、故障ではありません。

ダビング・外部機器接続

ダビングできない。

- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。
- A/V接続ケーブルが正しくつながれていない。他機の入力端子へつながれているか確認する（48ページ）。

パソコンとの接続

「PMB」がインストールできない。

- パソコンの環境、インストール手順を確認する。

自己診断・警告表示

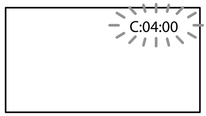
「PMB」が正しく動作しない。

- 「PMB」を終了し、パソコンを再起動する。

本機がパソコンに認識されない。

- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取り外す。
- パソコンから本機のUSBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

画面に次のように表示されます。2、3回対応を繰り返しても正常に戻らないときは、以下にお問い合わせください。CまたはEからはじまる数字すべてをお知らせください。
DEV-3/5をお使いの方：
ソニーの相談窓口
DEV-5Kをお使いの方：
ソニーの業務用商品相談窓口または
お買い上げ店



C: (またはE:)□□:□□(自己診断表示)

C:04:□□
- "インフォリチウム"バッテリー Vシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム"バッテリー Vシリーズを使う(86ページ)。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ(10ページ)。

C:06:□□
- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□ / C:32:□□
- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□
- 70ページの手順②からお試しください。

(バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。

- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがあります。

（バッテリーの温度に関する警告）

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

HDMI（温度の上昇によるHDMI出力停止の警告）

- HDMI出力の停止温度に達しているため、接続されているモニターなどに画像が表示されない。温度が下がるまで放置する。ただし、本機では継続して撮影を行うことができます。

（メモリーカード関連の警告）

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、17ページをご覧ください。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか、画像を保存（バックアップ）してから（41ページ）、メモリーカードをフォーマットする（63ページ）。
- 管理ファイルが壊れている。MENU（メニュー）→[セットアップ]→[（メディア設定）]→[管理ファイル修復]の順に選んで、管理ファイルの状態をチェックする。

（メモリーカードフォーマット関連の警告）

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しくフォーマットされていない（63ページ）。

（非対応メモリーカード関連の警告）

- 本機では使えないメモリーカードを入れた（17ページ）。

（メモリーカード誤消去防止に関する警告）

- メモリーカードの誤消去防止スイッチが書き込み禁止になっている。
- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

（外付けメディア関連の警告）

- 管理ファイルが壊れている。MENU（メニュー）→[セットアップ]→[（メディア設定）]→[管理ファイル修復]の順に選んで、管理ファイルの状態をチェックする。

（外付けメディアのフォーマット関連の警告）

- 外付けメディアが壊れている。
- 外付けメディアが正しくフォーマットされていない。

（手ブレ警告）

- 手ブレが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

（静止画撮影に関する警告）

- メモリーカードの空き容量がない。
- 処理中のため、一時的に静止画記録ができない。しばらく待ってから撮影する。

ちょっと一言

- メッセージによっては表示されるときに警告音が鳴ります。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

メモリーカード

データエラーが発生しました

- メモリーカードへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。
- 本機に振動を与えつづけたときに、発生することがあります。
- 他機で撮影した動画は再生できないことがあります。

管理ファイルに不整合が見つかりました 修復しますか?
管理ファイルに不整合が見つかりました HD動画を記録・再生できません　修復しますか?

- 管理ファイルが破損しているので、動画・静止画撮影ができません。 OK を選び、Enterボタンを押して修復する。

管理ファイルに不整合が見つかりました バックアップして修復します 修復したあと同梱のPCソフトウェアで取り込んでください

- 動画の管理情報が破損し、管理ファイルとの間に不整合が発生しています。 OK を選びEnterボタンを押すと動画をバックアップして管理ファイルを修復します。バックアップされた動画は本機では認識できません。

  修復したあと本機を付属のソフトウェア「PMB」をインストールしたパソコンとつなぐと、バックアップされた動画をパソコンに取り込むことができます。

  ただし、すべての動画の取り込みを保証するものではありません。

バッファオーバー メディアへの書き込みが 間に合いませんでした

- 記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードが使われている。データをパソコンなどのハードディスクにバックアップした後、本機でフォーマットし直す(63ページ)。
- お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録時間に充分ではありません。本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(17ページ)。

データ修復中

- メモリーカードに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みます。

データを修復できませんでした

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。メモリーカードへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

メモリーカードを入れなおしてください

- メモリーカードを2、3回入れ直す。それでも表示されるときはメモリーカードが壊れている可能性があるので交換してください。

このメモリーカードは認識できません フォーマットしてからお使いください

- メモリーカードを本機でフォーマットする(63ページ)。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

静止画用フォルダがいっぱいです 静止画の記録はできません

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- フォーマットするか(63ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

このメモリーカードは動画を記録・再生できない可能性があります

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(17ページ)。

このメモリーカードは正常に記録・再生できない可能性があります

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(17ページ)。
- ソニーの相談窓口(DEV-3/5)、ソニーの業務用商品相談窓口またはお買い上げ店(DEV-5K)にお問い合わせください。

書き込み中にメモリーカードが抜かれました　データが壊れた可能性があります

- メモリーカードをもう一度入れて、画面の指示に従う。

外付けメディアは実行できない状態です

- MENU(メニュー)→[セットアップ]→[(メディア設定)]→[管理ファイル修復]の順に選んで、管理ファイルの状態をチェックする。
- それでも表示される場合は、外付けメディアを接続し直したあと、フォーマットしてください。フォーマットすると、外付けメディアに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- フォーマットに失敗する場合は、本機で対応していない外付けメディアか、もしくは外付けメディアが壊れている可能性があるので交換してください。

その他

制限枚数を超えています

- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
  - 画像の削除
  - 画像のプロテクト、解除
  - 画像のコピー

記録時間・枚数について

バッテリーごとの使用可能時間の目安

撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

2Dモード時　（単位：分）

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-FV70	180	90
NP-FV100	360	180

3Dモード時　（単位：分）

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-FV70	150	75
NP-FV100	305	150

モニタリング可能時間

満充電からのおよその時間です。

2Dモード時　（単位：分）

バッテリー型名	連続使用時
NP-FV70	195
NP-FV100	395

3Dモード時　（単位：分）

バッテリー型名	連続使用時
NP-FV70	185
NP-FV100	370

再生可能時間

満充電からのおよその時間です。

（単位：分）

バッテリー型名	2D	3D
NP-FV70	290	250
NP-FV100	580	500

- 2D時のそれぞれの時間は［録画モード］が［標準 HQ］のときのものです。
- 実撮影時とは、録画スタンバイ/スタート、MODEランプの切り換え、ズーム操作などを繰り返した時の時間です。
- 25℃で使用したときの時間です。10℃～30℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・モニタリング・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・モニタリング・再生可能時間が短くなります。
- バッテリーの残容量表示（90ページ）は、撮影・再生可能時間を表示します。

動画の撮影可能時間の目安

メモリーカード

（単位：分）

	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
3D	9 (9)	15 (15)	35 (35)	75 (75)	150 (150)
AVC HD 28M (PS)	9 (9)	15 (15)	35 (35)	75 (75)	150 (150)
AVC HD 24M (FX)	10 (10)	20 (20)	40 (40)	90 (90)	180 (180)
AVC HD 17M (FH)	10 (10)	30 (30)	60 (60)	120 (120)	245 (245)
AVC HD 9M (HQ)	25 (20)	50 (40)	105 (80)	215 (165)	440 (330)
AVC HD 5M (LP)	45 (35)	90 (75)	190 (155)	380 (310)	770 (630)

- ソニー製メモリーカード使用時

ご注意

- 撮影可能時間やモニタリング可能時間は撮影環境や被写体の状態、［録画モード］と［フレームレート］（61ページ）によっても変わります。
- （　）内は最低録画時間です。

ちょっと一言

- 動画の撮影可能シーン数は、3D動画で最大3,999個、2D動画で最大3,999個です。

- 動画の連続撮影可能時間は以下のとおりです。
  2D時：約13時間
  3D時：約6時間30分
  本機の設定によっては、これより短くなります。
- 撮影シーンに合わせてビットレート（一定時間あたりの記録データ量）を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しています。そのため、メモリーカードへの録画時間は変動します。たとえば、動きの速い映像はメモリーカードの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、メモリーカードの録画時間は短くなります。

静止画の撮影可能枚数の目安

メモリーカード

	5.3M 16:9 5.3M	7.1M 4:3 7.1M
2GB	620	560
4GB	1250	1100
8GB	2500	2250
16GB	5000	4550
32GB	10000	9200

- ソニー製メモリーカード使用時
- メモリーカードの撮影可能枚数は、お買い上げ時の設定と本機での最大画像サイズのみ枚数を記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の画面上でご確認ください（90ページ）。
- メモリーカードの撮影可能枚数は、撮影環境によって異なる場合があります。

ご注意

- ソニー独自のクリアビッド画素配列と画像処理システムにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

ちょっと一言

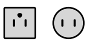
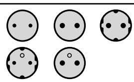
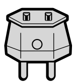
- 各録画モードのビットレート（動画＋音声など）、画素数およびアスペクト比は、次のとおりです。
  - 3D動画：
    最大28Mbps 1,920×1,080画素/16:9
  - 2D動画：
    PS：最大28Mbps 1,920×1,080画素/16:9
    FX：最大24Mbps 1,920×1,080画素/16:9
    FH：約17Mbps（平均）1,920×1,080画素/16:9
    HQ：約 9Mbps（平均）1,440×1,080画素/16:9
    LP：約 5Mbps（平均）1,440×1,080画素/16:9
- 静止画記録画素数およびアスペクト比
  - 静止画撮影モード：
    3,072×2,304ドット/ 4:3
    3,072×1,728ドット/16:9
    1,600×1,200ドット/ 4:3
    640×480ドット/ 4:3

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプター（DEV-3/5）、ACアダプター /チャージャー（DEV-5K）は、全世界の電源（AC100V ～ 240V、50Hz/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米	 主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

3D動画を見るには

3Dで記録した動画を3Dで見るには、3D対応テレビ（またはモニター）とHDMIケーブル（別売）が必要です。

ハイビジョン画質で見るには

ハイビジョン画質で記録した画像をハイビジョン画質で見るには、ハイビジョン対応のテレビ（またはモニター）とHDMIケーブル（別売）またはコンポーネントA/Vケーブル（DEV-5Kのみ付属）が必要です。

標準画質で見るには

ハイビジョン非対応の映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

テレビで見るには

本機で撮影した動画をテレビで見るには、あらかじめ［60i/50i切換］をご覧になる国や地域で採用されているテレビ方式に合わせて設定して撮影してください。

［60i/50i切換］を［60i（NTSC）］に設定する国と地域

日本、アメリカ、エクアドル、カナダ、韓国、コロンビア、ジャマイカ、スリナム、台湾、中央アメリカ、チリ、バハマ、フィリピン、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、メキシコなど

［60i/50i切換］を［50i（PAL）］に設定する国と地域

アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラク、イラン、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、オーストラリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、クウェート、クロアチア、シンガポール、スウェーデン、スイス、スペイン、スロバキア、タイ、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、パラグアイ、ハンガリー、フィンランド、ブラジル、フランス領ギアナ、フランス、ブルガリア、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、モナコ、ルーマニア、ロシアなど

現地の時間に合わせるには

海外で使うときは、MENU（メニュー）→［セットアップ］→［⏻（⏻ 時計設定）］→［日時設定］→［サマータイム］と、MENU（メニュー）→［セットアップ］→［⏻（時計設定）］→［エリア設定］を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます（68ページ）。

［自動時刻補正］・［自動エリア補正］が［入］の場合、GPSにより自動的に現地時間に設定されます（DEV-5/5K）。

世界時刻表

時差	エリア設定
GMT	リスボン、ロンドン
+01:00	ベルリン、パリ
+02:00	ヘルシンキ、カイロ、イスタンブール
+03:00	ナイロビ
+03:30	テヘラン
+04:00	モスクワ、アブダビ、バク
+04:30	カブール
+05:00	カラチ、イスラマバード
+05:30	カルカッタ、ニューデリー
+06:00	アルマトイ、ダッカ
+06:30	ヤンゴン
+07:00	バンコク、ジャカルタ
+08:00	香港、シンガポール、北京
+09:00	東京、ソウル
+09:30	アデレード、ダーウィン
+10:00	メルボルン、シドニー
+11:00	ニューカレドニア
+12:00	フィジー、ウェリントン、エニウェトク、クエジェリン
-11:00	サモア
-10:00	ハワイ
-09:00	アラスカ
-08:00	サンフランシスコ、ティファナ
-07:00	デンバー、アリゾナ
-06:00	シカゴ、メキシコシティ
-05:00	ニューヨーク、ボゴタ
-04:00	サンティアゴ
-03:30	ニューファンドランド
-03:00	ブラジリア、ブエノスアイレス
-02:00	フェルナンド デ ノローニャ
-01:00	アゾレス、カボベルデ

使用上のご注意とお手入れ

AVCHD規格について

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、HD（ハイビジョン）信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、またはリニアPCM方式を採用しています。
MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。
また、3D及び60p/50p記録が追加された「AVCHD規格 Ver.2.0」では、3Dの映像圧縮にMPEG-4 MVC/H.264方式を採用しています。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがありますが故障ではありません。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、HD（ハイビジョン）記録・再生ができます。

映像*：MPEG-4 AVC/H.264 1920×1080/60p（50p）、1920×1080/60i（50i）、1440×1080/60i（50i）
MPEG-4 MVC/H.264 1920×1080/60i（50i）
音声：ドルビーデジタル2ch
記録メディア：メモリーカード

* 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

GPSについて（DEV-5/5K）

GPS（Global Positioning System）とは、米国の高精度な航法衛星を利用した地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。
GPS衛星は、高度20,000kmの6つの軌道上に各4個、24個以上が設置されています。GPS衛星からの電波を受信し、衛星の軌道情報（アルマナックデータ）と電波の伝播時間のデータなどから自分の位置を計算します。
位置を計算することを測位と呼び、衛星は3機以上受信できれば、緯度、経度がわかります。

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、位置情報を記録できないことがあります。
  - トンネルの中・屋内やビルの陰
  - 高層ビルの間・建物の間の狭い道路
  - 地下・密集した樹木の間・高架の下・高圧電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
  - 1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合

誤差について

- 本機の電源を入れた直後に移動すると、移動しなかった場合にくらべて、測位までの時間が長くなることがあります。
- GPS衛星自体による誤差
  本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。GPS衛星自体による誤差は、約10m程度ですが、測位

する周辺の環境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と地図上での位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国国防総省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。
- 測位時間による誤差
本機では測位中に位置情報を定期的に取得しています。

規制について

- 使用する国や地域、またご利用になる場所の規制に従ってGPSをお使いください。

測地系について

- 本機では、測地系として、「WGS-84」を採用しています。

メモリーカードについて

- パソコン（Windows OS/Mac OS）でフォーマット（初期化）したメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み・書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償についてはご容赦ください。
  - 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中（アクセスランプが点灯中および点滅中）に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

メモリーカードアダプターの使用について

- メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと、正常に動作しない場合があります。

画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格 "Design rule for Camera File system" に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、本機でフォーマットしてください（63ページ）。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  - パソコンで加工した画像データ
  - 他機で撮影した画像データ

“メモリースティック”について

“メモリースティック”の種類	記録・再生
“メモリースティック デュオ”(マジックゲート対応)	—
“メモリースティック PRO デュオ”(Mark2)	○
“メモリースティック PRO-HG デュオ”	○

- 本機はパラレルデータ転送に対応しております。ただし、お使いのメディアによって転送速度は異なります。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Vシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。また、“インフォリチウム”バッテリー Vシリーズであっても、NP-FV70/FV100以外は使えません。“インフォリチウム”バッテリー Vシリーズには InfoLITHIUM V マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは?

- “インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売のACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
- “インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。
- バッテリーNP-FV70/FV100は、“ActiFORCE”に対応しています。
  “ActiFORCE”とは、当社従来の“インフォリチウム”バッテリー Pシリーズ電源システムと比較して高容量、急速充電、バッテリー残量計算精度・スピードを改善した、次世代電源システムの機能名称です。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃〜30℃の範囲で、CHG(充電)ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
  - 高容量バッテリー「NP-FV100」を使う
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、MENU（メニュー）→[セットアップ]→[🔧（🔧一般設定）]→[自動電源オフ]→[切]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください（67ページ）。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

x.v.Color（エックスブイ・カラー）について

- x.v.Colorとは、xvYCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- xvYCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- ファインダーやレンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  ファインダーやレンズ内部を傷めます。

長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

- 結露が起きたときは
  電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。
- 結露が起こりやすいのは
  次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。
  - スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
  - 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
  - スコールや夏の夕立の後
  - 温泉など高温多湿の場所
- 結露を起こりにくくするために
  本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。

- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

充電方法

本機を付属のACアダプター(DEV-3/5)、ACアダプター/チャージャー(DEV-5K)を使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け電源を切って24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。またメモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

商標について

- "AVCHD 3D/Progressive"および"AVCHD 3D/Progressive"ロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK™、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO、"メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"マジックゲート"、MAGICGATE、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- "x.v.Color"はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- DVDirectはソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™ 及びBlu-ray™ はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- "プレイステーション®3"は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、"PS"、"プレイステーション"および"PlayStation"は同社の登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

（i）消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

（ii）AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。
なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアである「C Library」、「zlib」、「libjpeg」が搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license3.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」の記載（英文）が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名DEV-5をお選びください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

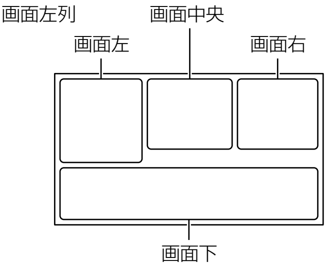
ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載（英文）が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/

画面表示



画面左

表示	意味
MENU	メニューボタン(50)
	セルフタイマー(58)
	GPS測位状況(30)
	顔検出(59)
	手動フォーカス(55)
	シーンセレクション(57)
	ホワイトバランス(54)
	手ブレ補正切(58)
WS	WBシフト(56)
T	テレマクロ(58)
COLOR	x.v.Color(61)
	訪問先(68)
	おまかせオート(29)

画面中央

表示	意味
[スタンバイ]/[●録画]	撮影状態(21)
	スライドショー設定
HDMI	警告(76)
	再生表示(24)

画面右

表示	意味
HD 60i HQ	フレームレート(60p/60i/50p/50i)/録画モード(PS/FX/FH/HQ/LP)(29)
60分	バッテリーの残容量表示(撮影・再生可能時間)
4:3 7.1M 16:9 5.3M 4:3 1.9M 4:3 VGA	静止画サイズ(62)
	記録/再生/編集メディア(17)
	外付けメディア接続中(44)
0:00:00	カウンター(時:分:秒)
00分	記録残量時間の目安
9999	およその静止画撮影可能枚数
101	メモリーカードの再生フォルダ
100/112	再生中の動画・静止画の番号/記録している動画・静止画の数
2D	2D撮影/再生
3D	3D撮影/再生

画面下

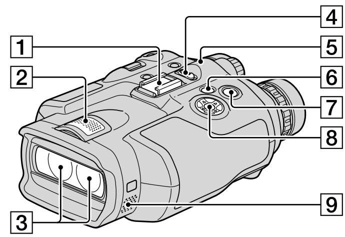
表示	意味
	画像再生ボタン(23)
	マイク基準レベル低(60)
	Low Lux(57)
	カメラ明るさ(55)
EV	AEシフト(56)
500	シャッタースピード(56)
F1.8	絞り(56)
i AUTO	おまかせオート(29)
	スライドショーボタン
101-0005	データファイル名(24)
	プロテクト(33)
	3D奥行き調整(31)

表示	意味
オート	オート時(32)
マニュアル	画像明るさマニュアル設定時(32)

- 表示内容や位置は目安であり、実際と異なることがあります。
- お使いの機種によって表示されないものがあります。

各部のなまえ

(　)内は参照ページです。



1 アクセサリーシュー

2 内蔵マイク

3 レンズ

4 POWER(電源)スイッチ(14)

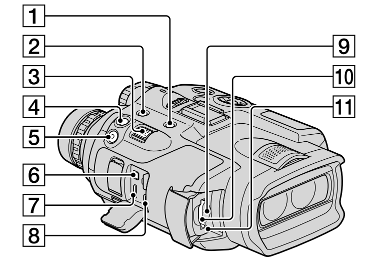
5 CHG(充電)ランプ(10)

6 ▶(画像再生)ボタン(23)

7 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(21)

8 ▲/▼/◀/▶/Enterボタン

9 スピーカー



1 MODE(モード)ボタン(22)

2 FINDER 2D/3D(ファインダー表示切り換え)ボタン(20)

3 ズームレバー(19)

4 PHOTO(フォト)ボタン(23)

5 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(21)

6 A/Vリモート端子(25)

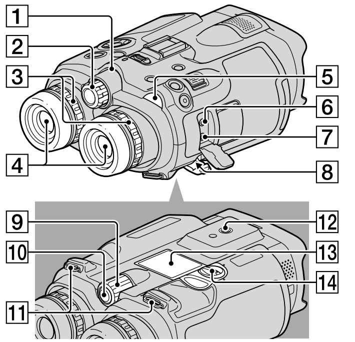
7 HDMI OUT端子(25)

8 ψ(USB)端子(43)

9 メモリーカードアクセスランプ(18)
点灯、点滅中は、データの読み書きを行っています。

10 メモリーカード スロット(18)

11 RESET(リセット)ボタン
先のとがったもので押してください。
日時を含めすべての設定が解除されます。



1 録画ランプ(67)
録画時に赤く点灯します。
メモリーカードやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

2 IPD ADJダイヤル(14)

3 視度調整ダイヤル(14)

4 ファインダー

5 (動画)/(静止画)ランプ(21、22)

6 MIC(PLUG IN POWER)端子

7 (ヘッドホン)端子

8 DC IN端子(10)

9 MANUALダイヤル(31)

10 MANUALボタン(31)

11 ネックストラップ取り付け部

12 三脚用ネジ穴
三脚(別売、ネジの長さが5.5mm以下)を三脚用ネジ穴に取り付けます。

13 バッテリーカバー(10)

14 バッテリーカバーロック(10)

索引

ア

緯度経度データ 64
イベントインデックス 23
打ち上げ花火 57
エリア設定 68
屋外 54
屋内 54
お知らせメッセージの例 78
お手入れ 84
おまかせオート 29
音声出力タイミング 60
音量 24, 64

カ

海外 82
海外で充電 13, 82
ガイドフレーム 60
顔検出 59
画質・画像サイズ 61
画像サイズ 62
カメラ明るさ 55
カメラデータ 63
カメラ・マイク 54
画面表示 90
画面表示設定 60
管理ファイル修復 74, 77
記録時間・枚数 80
結露 87
言語設定 67
広角 19
故障かな？と思ったら 70
コピー 40, 43
コンセントの電源で使う 12
コンポーネント出力 65

サ

サイドバイサイド 65
削除 32
撮影モード 54
サマータイム 68
サムネイル 32
三脚 92
シーンセレクション 57
自己診断・警告表示 76
自動3Dレンズ調整 57
自動エリア補正 69
自動逆光補正 59
自動時刻補正 68
自動電源オフ 67
絞り 56
シャッタースピード 56
充電 10
使用可能時間 80
使用上のご注意 2, 84
ズーム 19
スノー 58
スポットライト 57
静止画 22
接続コード 11
セルフタイマー 58
双眼鏡 19
操作音 67
外付けメディア 41
その他の機能 63

タ

ダイヤル設定 31
ダイレクトコピー 45
ディスクレコーダー 48
ディスクをコピーする 40
ディスクを作る 36, 41
デジタルズーム 59
手ブレ補正 58, 59
テレビ 25
テレビ方式 82
テレマクロ 58
電源 14
動画 21
時計設定 67
取り扱い上のご注意 87
撮る 21, 22

ナ

日時設定 15, 67

ハ

バッテリー 10
バッテリーインフォ 67
ビーチ 57
日付/データ表示 16, 24, 31, 49, 63
日付時刻データ 16, 63
日の出＆夕焼け 57
ファイル番号 63
ファインダー明るさ 66
ファインダー調整 66
風音低減 59
風景 57
フォーカス 55
フォーマット 63
付属品 8
ブルーレイディスク 40, 46
フレームパッキング 65
フレームレート 61
プロテクト 33
編集 32
編集・コピー 62
望遠 19
ポートレート 57
ホワイトバランス 54

マ

マイク基準レベル 60
満充電 11, 12
メディア情報 63
メニュー 50, 51
メモリーカード 17
“メモリースティック” 85
“メモリースティック PRO-HG デュオ” 17, 86
“メモリースティック PRO デュオ”（Mark2） 17

ヤ

夜景 57

各部のなまえ・索引

ラ

リセット....92
録画モード....29
録画ランプ....67

ワ

ワンタッチディスク....38
ワンプッシュ....54

アルファベット

AEシフト....56
AVCHD....36
AVCHD規格....84
AVCHDディスクを再生する....39, 42
AVCHDのディスクを作る....39, 47
A/V接続ケーブル....26, 49
DVDライター....47
FH....29
FX....29
GPS....30, 66
GPS情報....66
HDMI 3D方式切換....65
HDMI解像度....65
HDMI機器制御....65
HQ....29
InfoLITHIUMバッテリー....86
Low Lux....57
LP....29
MANUALダイヤル....31
MPEG-4 AVC/H.264....84
NTSC....82
PAL....82
PS....29
TVタイプ....64
USBケーブル....47
USB接続....37, 46, 47, 66
VBR....81
WBシフト....56
X.V.Color....61, 87

数字

2D/3Dモード切換....61
2Dモード撮影/3Dモード撮影....21
3D奥行き調整....25, 31
1080i....65
1080p....65
16:9....64
4:3....64
480i....65
60i/50i切換....67

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1